

武庫川女子大学情報教育研究センターのあゆみ

岡田 由紀子

1. センター設立前の動き

〔1982年度（昭和57年度）～1990年度（平成2年度）〕

| 年度 | 内容 |
|------|---|
| 1982 | 伊佐治せつ子助手（被服）がH302教室でコンピュータ講習会実施 |
| 1983 | 被服学科がコンピュータ講習会を6月と11月に実施 |
| 1984 | 大学において情報処理教育開始。女子大学としては初めて、専門教育に情報処理カリキュラム導入、施設・設備の整備を図りつつ情報処理教育開始 |
| 1984 | 大学の教育学科初等教育専攻人間教育コース（のちの人間関係コース）および短期大学部の人間関係学科で情報科学関係科目が開講される |
| 1984 | その後、大学の被服学科、短期大学部の被服学科において「コンピュータ演習」という科目が設けられる。その他、大学の上級学年で少人数の演習などでも行われていた可能性がある |
| 1985 | コンピュータを用いた個別学習の研究。CAI学習のための教材の開発と個別指導。CAIシステムの導入、コンピュータを使った個別学習始まる(端末数60台) |
| 1985 | 全学共通コンピュータ実習室が文学Ⅱ号館と薬学部に完成。教務部に情報処理教育担当部門設置。全学的な情報教育を一元的に扱う体制整う |
| 1985 | C館大幅改修。4階は情報関係のワープロやコンピュータの実習室CAI教室。これに伴い、第3学舎の情報機器を全て移転 |
| 1985 | 卒業生対象パソコン講座とワープロ講座開講。パソコン講座200人（CAI教室）、ワープロ講座240人（ワープロ実習室）で実施 |
| 1985 | 世界で最も優れたCAIシステム（PLATOシステム）の創始者である米国イリノイ大学ピッツァー博士が夫人とともに来学 |
| 1988 | 兵庫県教育工学研究会の発表大会開催。文学2号館および南館で教育関係者200人参加 |
| 1989 | 情報教育に関するシンポジウム「教育とコンピュータ・シンポジウム及び海外教育ソフト展」開催。テーマはComputer and Education of Tomorrow（教育関係者約650名参加） |
| 1990 | 大学・短期大学部において情報処理教育委員会発足。全学的に情報処理を実施するための施設・設備の拡充、人材確保、講座の編成など、情報教育を推進するための研究活動を始める |
| 1990 | 7月20日 武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部情報処理教育委員会規程制定 |
| 1990 | 【情報処理教育委員会】委員長：井上和郎（人間関係）期間：1990年7月20日～1991年3月31日 委員：佐竹秀雄（国文）、安達一美（英文）、藤田真一（教育）、濱谷英次（人間関係）、清水毅（体育）、大谷貴美子（食物）、伊佐治せつ子（被服）、菅井邦介（音楽）、萩中淳（薬学） |
| 1990 | 第1回【日米教育コンピュータシンポジウム】をスタンフォード大学で開催 The Conference on Educational Technology 90 The United States and Japan. |
| 1990 | 次年度推薦機種選定。文書処理能力育成と教育ネットワーク利用の観点から、通信機能付きワープロ幹旋決定（秋）、推薦入学試験合格者向け文書配布（12月） |
| 1990 | 武庫川高校からの進学者・一般入学試験合格者向け文書配布ならびに教職員への広報、新入生購入申し込み受付（1991年1月～3月） |

2. センター設立後のあゆみ

〔1991 年度（平成 3 年度）〕情報教育センター（現情報教育研究センター）開設

| 内容 |
|---|
| 【目的】①情報教育環境の整備と情報活用能力の育成、②教育ネットワークの整備と運用 |
| 【組織】〔センター長〕井上和郎 〔常任委員〕中植雅彦、濱谷英次 〔実習・事務担当〕谷澤陽子、岡田由紀子、吉田潤史 |
| 【情報処理教育委員会】委員長：井上和郎（人間関係） 常任委員：中植雅彦（教育）、濱谷英次（人間関係） ※1992 年度以降は委員のみ記載する 委員：佐竹秀雄（国文）、安達一美（英文）、藤田眞一（教育）、清水毅（体育）、宮崎由子（食物）、伊佐治せつ子（被服）、菅井邦介（音楽）、三宅暲司郎（薬学） |
| 【情報処理教育】第 1 学舎文学Ⅱ号館 31（LⅡ-31）・文学Ⅲ号館 41（LⅢ-41）の 2 教室で行われた情報処理教育の受講者数は、前期 1,113 名、後期 1,228 名、特別学期 711 名の合計 3,052 名 |
| 【自主学习状況】LⅡ-31 229 名、LⅢ-41 703 名、合計 932 名（注）数字は延人数 |
| 【武庫川学院教育ネットワーク（Mukogawa Institute Educational Terecommunications）通称 MIET（ミート）】構築（12 月）本学独自のパソコン通信システム |
| 【教育ネットワーク運用】広報文書の収集・入力、利用者登録、利用調査・研究、保守・管理、ガイドブック発行、ニューズレターの発行、ネットワーク運用の諸規定を作成した |
| 【情報機器斡旋】前年秋：次年度推奨機種を選定（1991 年度斡旋機器はシャープ製 WV-700M）。前年 12 月：推薦入学試験合格者向け文書配布。当該年度 1～3 月武庫川高校からの進学者・一般入学試験合格者向け文書配布ならびに教職員への広報、新入生購入申し込み受付 |
| 【利用講座】当該年度 4 月以降機器引き渡し、利用講座（無料）開始。利用講座は、「利用講座Ⅰ」（基礎編）基本操作、「利用講座Ⅱ」（応用編）ワープロ機能の本格的な利用法、「利用講座Ⅲ」（通信編）パソコン通信の利用を 3 回に分けて行った |
| 【斡旋状況】1 年生 1,466 名、2 年生以上 236 名、教職員 53 名、その他（卒業生、オープンカレッジ）17 名、合計 1,772 名 |
| 【ワープロ検定特別講座】①Ⅰ期【普通コース】、②集中コース、③Ⅱ期【普通コース】の 3 種類 担当者：井上和郎、濱谷英次、倉内淳子、石田知子、（補助員：大学人間関係コース学生 10 名） 講座定員：各クラス 60 名、場所：文学Ⅲ号館 41・43。本講座は、オープンカレッジ主催として開講 |
| 【ワープロ検定】OA 機器操作技能評価試験、主催（中央職業能力開発協会・都道府県職業能力開発協会）、後援（労働省）。第 1 回 9 月 29 日、第 2 回 2 月 9 日、2 回の合格者数は 509 名（ワープロ 3 級） |
| 武庫川学院教育ネットワーク利用規約制定（12 月 7 日） |
| 【武庫川学院教育ネットワーク(MIET)開局式】12 月 7 日講堂地下第 1 会議室で開局式典開催。MIET 構築の完成と開局を、報道関係を中心に披露するとともに、学外より 37 名の来賓を迎え開局を祝って式を開催した。なお、式典後に通信操作説明・就職情報を見学 |
| 【冊子発行】開局式にあたり、本学のこれまでの情報教育に対する取り組み、施設・設備、情報機器斡旋までの経緯、ネットワーク構築の意義・画面構成等についてまとめた「情報教育の歩み－学生のコンピュータマインドの育成をめざして」発行 |

〔1992 年度（平成 4 年度）〕

| 内容 |
|--|
| 【目的】①情報活用能力を育成し、情報教育環境を整備する、②教育ネットワークを活用する |
| 【組織】〔センター長〕井上和郎 〔常任委員〕中植雅彦、濱谷英次 〔実習・事務担当〕岡田由紀子、石田知子、谷澤陽子、吉田潤史 |
| 【情報処理教育委員会】委員：佐竹秀雄（国文）、佐藤勝之（英文）、藤田眞一（教育）、濱谷英次（人間関係）、清水毅（体育）、宮崎由子（食物）、伊佐治せつ子（被服）、菅井邦介（音楽）、三宅暲司郎（薬学） |

| |
|--|
| 【情報処理教育】第1学舎文学Ⅱ号館31・文学Ⅲ号館41の2教室で行われた。前期995名、後期969名、特別学期666名の合計2,630名 |
| 【自主学習状況】LⅡ-31 250名、LⅢ-41 645名、合計895名(注)数字は延人数 |
| 【教育ネットワーク利用研究】ネットワーク(MIET)教育利用のための調査研究、海外ネットワーク接続・利用に関する調査研究 |
| 【教育ネットワーク運用】ネットワーク広報文書の収集・入力、利用者登録、利用調査・研究、保守・管理、ガイドブック発行、ニュースレターの発行、ネットワーク運用諸規定作成 |
| 【ワープロ検定特別講座】①前期講座、②集中講座、③後期講座の3種類。担当者：濱谷英次、中植雅彦、倉内淳子、石田知子、補助員(大学人間関係コース学生6名)。講座定員：各80名、場所：文学Ⅲ号館41・43教室 |
| 【ワープロ検定】OA機器操作技能評価試験(主催・後援は前年度と同じ)第1回6月7日、第2回10月18日、第3回2月7日。合格者数は、ワープロ3級466名、ワープロ2級124名であった |
| 【海外キャンパス MFWI との接続】通信接続に成功し通信開始(SPRINTnet 利用)。学外の大学・研究室等と電子メールによる情報交換が始まる |
| 【ID発行状況】学生(3,267名)、教職員(258名)のID発行数は約3,500名 |
| 第2回【日米教育コンピュータシンポジウム92】武庫川女子大学で開催 The Conference on Educationnal Technology 92 The Japan and United States. |
| 【情報機器の斡旋】斡旋機器は、前年度と同じシャープ製WV-700M |
| 【斡旋状況】1年生1,258名、2年生以上45名、教職員4名、その他(卒業生、オープンカレッジ)0名、合計1,307名 |
| 【特別講座】情報機器の特別講座は、前年度の結果を踏まえ、指導事項を精選し、1回あたりの時間数を増やし2回で行った |
| 【発行物】教育ネットワークガイドブック(Guide Book For MIET 1992)(6月1日発行)、情報教育センター年報'91・'92(3月31日発行) |
| 【施設見学等】神戸学院大学、広島女子大学、流通科学大学、兵庫県教育委員会阪神教育事務所、甲南大学。中部大学情報処理センターと聖徳大学短期大学部には、文書による紹介を行った |

[1993年度(平成5年度)]

| 内容 |
|---|
| 【重点目標】・情報処理教育を円滑に実施する ・情報教育のカリキュラムを開発し、研究する ・情報教育環境を整備する ・ネットワークを運用し、その教育的活用を研究する ・ネットワークの利用に関して学生を指導する ・ネットワークを運営、管理する |
| 【組織】[センター長] 井上和郎 [常任委員] 中植雅彦、濱谷英次 [実習・事務担当] 岡田由紀子、宗田知子、谷澤陽子、吉田潤史 |
| 【情報処理教育委員会】委員：佐竹秀雄(国文)、吉田信介(英文)、藤田眞一(教育)、萬代悟(人間関係)、三井正也(体育)、宮崎由子(食物)、伊佐治せつ子(被服)、菅井邦介(音楽)、三宅暲司郎(薬学) |
| 【情報処理教育】LⅡ-31とE-401で行われた情報処理教育科目の受講者は、前期1,267名、後期1,272名、特別学期386名の合計2,925名 |
| 【自主学習状況】1993年度の情報処理実習自主学習状況は、合計1,331名(注)数字は延人数 |
| 【教育ネットワーク(MIET)】接続形態は、電話回線による接続(外部から8本、内部から7本)と直結回線。利用IDの発行状況は、学生4,103名・教職員346名、総合計4,449名 |
| 【MIET英語版メニュー作成】アメリカ・ワシントン州スポケーン市の本学の海外キャンパス(MFWI)との接続に伴い、英語版のメニュー作成 |
| 【発行物】教育ネットワークガイドブック(Guide Book For MIET 1993)(6月1日発行)、情報教育センター年報'93(通巻第2号)(3月31日発行) |
| 【情報機器の斡旋と斡旋状況】今年度の斡旋機器は複数機種を推奨した。シャープWD-A751Mは496名、シャープWV-700Mは557名、富士通30-AD301は5名の申込があり、過去3年間で約4,000名の学生が斡旋機器を保有し、レポートの作成、ワープロ資格の取得、パソコン通信等に利用している |

| |
|--|
| 【利用講座】ワープロ利用講座は、利用講座Ⅰ（基礎編）26クラスと、利用講座Ⅱ（通信編）13クラスを分けて行った。4月30日と7月2日は、薬学部にて実施した |
| 【ワープロ検定特別講座】①前期講座、②集中講座、後期講座の3種類。担当者：濱谷英次、中植雅彦、小川晶子（外部講師）、住本淳子、宗田知子、補助員（大学人間関係コース学生4名）。定員：各80名、場所：東館401・403 |
| 【ワープロ検定】1993年度は、第1回6月13日、第2回11月7日、第3回2月13日日本学において実施。年間合格者は、2級70名、3級270名の合計340名 |
| 【座談会】1994年1月19日、C-1001で学内の利用者10名（井上和郎、吉田圭一、萬代悟、谷村勇一、大路巧、竹垣美紀、濱谷英次、中植雅彦、岡田由紀子、谷澤陽子）で「MIETのこれから」をテーマにした座談会実施 |
| 【施設見学等】兵庫県立人と自然の博物館、未来教育研究所、聖徳大学、国文学研究資料館、日本教育工学会。園田学園女子大学・女子短期大学、城西大学・女子短期大学部、株式会社東芝、東海大学。大阪国際大学、専修大学、日本大学短期大学部、鹿児島短期大学、朝日大学、関西女学院短期大学、松山大学、文京女子大学、シャープシステムプロダクト株式会社、文教大学、福井工業大学、日本大学、京都学園大学、大東文化大学、近畿大学、熊本商科大学、旭川大学には文書による紹介を行った |

〔1994年度（平成6年度）〕情報教育センターを情報教育研究センターに改組

| 内容 |
|--|
| 【運営方針・重点目標】 情報化社会に対応した情報活用能力を育成し、情報教育・研究に関する支援環境を整備する |
| 【組織】〔センター長〕井上和郎（情報教育研究センター） 〔常任委員〕中植雅彦（教育）、濱谷英次（人間関係） 〔センター専任〕小野賢太郎（情報教育研究センター） 〔実習・事務担当〕岡田由紀子、谷澤陽子、澤田佳子、藏所美和、後和佐苗、藤岡久美、山本由美子、山田菜穂子 |
| 情報教育研究センター規程制定（4月1日） |
| 【情報処理教育委員会】委員：田上稔（国文）、笹部徹（英文）、宮本紘平（教育）、保井俊英（体育）、萬代悟（人間関係）、大森智子（環境）、宮崎由子（食物）、米田正次郎（情報）、菅井邦介（音楽）、高橋幸一（薬学） |
| 情報教育センターを情報教育研究センターに改組し、場所も公江記念館に移転 |
| 【情報処理教育】L2-31、E-401、W-11、W-12、演習室・オープンフロア（演習室1・2・3・4、98ゾーン、MACゾーン）で行われた科目は、前期2,001名、後期2,354名、特別学期※0名、合計4,355名。 ※特別学期は阪神大震災のため、開講中止 |
| 【学生所有機器の導入】全学共通教育科目に「情報処理基礎演習」が新たに開講され、このうち、斡旋パソコンを使用する科目として、「情報処理基礎演習Ⅰ（P）・Ⅱ（P）」を設定した |
| 【自主学習状況】1994年度の情報処理実習自主学習状況は、合計7,074名（注）数字は延人数 |
| 【教育ネットワーク(MIET)】接続形態は、電話回線による接続（外部から8本、内部から7本）と直結回線。利用IDの発行状況は、学生1,822名・教職員313名、総合計2,135名 |
| 【情報機器の斡旋】情報機器の活用範囲を広げるためにワープロに加えてノート型パソコン（東芝 DynaBook EZ486）の斡旋を行った。（ワープロ「一太郎 dash」、表計算「ロータス123」）を標準装備 |
| 【利用講座】購入者の利用講座（無料）は、機器引き渡し時に第1回目「機器の基本操作」の利用講座を行い、後日2回目に「MIETの利用方法」を行った。全学共通教育科目「情報処理基礎演習（P）」受講者に対しては、前後期とも1回目の授業前に引き渡しを行い、授業で機器の基本操作説明を実施した |
| 【斡旋状況】パソコン：東芝 DynaBook EZ486（660名）、ワープロ：東芝 Rupo JW-01V（137名）、専用プリンタ：東芝 DynaBook Printer PR-48E（641名）の申込みがあった |
| 【ワープロ・パソコン検定】受験資格は、本学学生で、学院推奨ワープロ又はパソコンを所持している者。1994年度は、第1回6月12日、第2回11月20日、※第3回2月11日は、阪神大震災のため中止。年間合格者は、ワープロ2級12名、3級116名 合計128名 |
| 【ワープロ検定受験対策講座】①前期講座、②集中講座、③後期講座の3種類。担当者：岡田由紀子、小川晶子、田中聡子。講座定員：各70名。場所：東館401・403教室および西館11教室 |

| |
|--|
| <p>【施設等見学】MFWI、イースタンワシントン大学、聖徳学園、国際電子ネットワーク教育学会、大阪府教育センター、鳴尾金曜会、阪南大学、読売新聞、坂出高校、高松高校、西脇高校、芦屋南高校、日本調理科学会近畿支部煮る操作分科会、鹿児島女子短大、学校法人実践学園、甲南大学、香川県高等学校PTA 連合会、立正大学情報処理センター熊谷電算機室、文部省学校法人調査課、多摩大学、尚絅大学、全私学新聞、私情協特別懇談会運営委員会</p> |
| <p>【関係資料紹介】足利工業大学情報科学センター、阪南大学情報処理研究センター、大阪電気通信大学情報処理教育センター、桃山学院大学計算機センター、京都産業大学計算機センター、大阪信愛女学院短期大学図書館</p> |
| <p>【施設利用】日本教育工学会第9回西宮大会を開催（10月10・11日）シンポジウムや研究発表、施設見学などが行われた</p> |
| <p>【阪神大震災における被害状況】1995年1月17日未明、阪神・淡路地方を襲った兵庫県南部地震で情報教育研究センター関連施設も被害を受けた。特に、文学2号館3階（L2-31）は、5階から漏水のため教室全体が冠水した。パソコン、およびネットワークの配線等も冠水し、使用不能となった。</p> |
| <p>【発行物】情報教育研究センター年報'94（通巻第3号）（3月31日発行）、武庫川女子大学情報教育研究センターレリーフ（1994年）</p> |
| <p>第3回【日米教育コンピュータシンポジウム 94】米国で開催 The Conference on Educational Technology 94 The United States and Japan.</p> |

〔1995年度（平成7年度）〕

| 内容 |
|---|
| <p>【運営方針・重点目標】情報化社会に適応した、情報教育・研究に関する支援環境を整備し、センター設立の目的である「研究」及び「情報教育」に関する事業の拡大・深化を図る</p> |
| <p>【組織】〔センター長〕井上和郎（情報教育研究センター） 〔常任委員〕中植雅彦（教育）、濱谷英次（人間関係） 〔センター専任〕小野賢太郎（情報教育研究センター） 〔実習・事務担当〕岡田由紀子、谷澤陽子、澤田佳子、山本由美子、後和早苗、山田菜穂子、林めぐむ、前川章子</p> |
| <p>【情報処理教育委員会】委員：市川真文（国文）、笹部徹（英文）、宮本紘平（教育）、保井俊英（体育）、萬代悟（人間関係）、大森智子（環境）、宮崎由子（食物）、米田正次郎（情報）、中村伸吾（音楽）、高橋幸一（薬学）</p> |
| <p>【情報処理教育】L2-31、E-401、E-301、演習室1・2・3・4、98ゾーン、W-11・12、MACゾーンで行われた1995年度の受講者数合計は5,697名。前期の共通教育の4科目は震災復旧のため開講せず</p> |
| <p>【自主学习状況】11,762名（注）数字は延人数</p> |
| <p>【震災復旧報告】文学2号館3階（L2-31）については、被害が大きいため前期授業は休業し、鋭意復旧に当たり、8月末に完成、後期より授業を実施した</p> |
| <p>【MIET利用IDの発行状況】学生（1,594名）、教職員（355名）、卒業生継続利用者（33名）合せて総合計1,982名</p> |
| <p>【情報機器斡旋】ノートパソコン及びノートパソコン専用プリンタの斡旋を行う。昨年度まで斡旋してきたワープロについては、斡旋状況等の見地等から斡旋を打ち切った。また、新製品が次々と発売される状況になったため、後期の斡旋機器を変更した</p> |
| <p>【斡旋パソコンを使用する科目】に「情報処理基礎演習Ⅲ（P）」を新設した</p> |
| <p>【斡旋機種】前期斡旋機種は東芝 DynaBook EZVision(EZV42501)、後期斡旋機種は東芝 DynaBook EZ425 001 モデル(EZV42501)。ワープロ「一太郎 dash」、表計算「ロータス 123」を標準装備し、住所録、スケジュール管理、通信の各ソフトを内蔵。ノートパソコン専用プリンタも販売した</p> |
| <p>【斡旋状況】1年生870名、2年生以上73名、合計943名が購入し、プリンタ斡旋台数は905台</p> |
| <p>【利用講座】引き渡し時に基本操作について行い、後日大学のパソコン通信の利用方法について行った。全学共通教育科目「情報処理基礎演習（P）」の受講者に対しては、前期は第1回目、後期は第2回目の授業前に機器の引き渡しを行い、引き続きの授業において機器の基本操作説明を行った</p> |
| <p>【ワープロ・パソコン検定】（OA 機器操作技能評価試験）今年度は、ワープロ部門：第1回6月11日、第2回10月29日、第3回2月18日。パソコン表計算部門：第1回6月11日、第2回2月18日に実施した。年間合格者は、ワープロ2級31名、3級217名、パソコン3級10名 合計258名</p> |

| |
|--|
| <p>【私情協】 本学で平成7年度情報教育問題フォーラム開催。参加者数約340名余り（106大学、20短期大学、賛助会員11社）（1995年7月7・8日）</p> |
| <p>【学術講演会】 日 時：1995年12月18日（月） テーマ：教育・研究とインターネット 内 容：第1部：基調講演「インターネットを利用した文献・書籍の検索の考え方と実際」 都留文科大学講師 大森 一輝 氏 第2部：インターネット利用実習 場 所：L1-204 教室 利用実習：情報教育研究センター演習室3 参加者：89名（本学教職員）</p> |
| <p>【発行物】 情報教育研究センターニュース第1-1号（9月13日発行）、情報教育研究センターニュース第1-2号（3月21日発行）</p> |
| <p>【施設見学】 朝日大学経営学部電子計算室、ロゴ教育研究所、滋賀女子短大、仁愛女子短大、中国女子短大、甲南女子大学、エプソン、大阪大学、静岡県立袋井高校</p> |
| <p>【施設利用】 インターネット講習会（情報教育研究センター）、パーソナルコンピュータ実務講座（偕和会研修事業部）、デジタル電話機によるネットワーク利用と利用登録についての説明会（情報教育研究センター）、卒業研究発表会（大教4年田村ゼミ・中植ゼミ）、データベースソフト「桐」研修会（人事課）、インターネットにかかる事務局職員の研修会（総務課）、国際電子ネットワーク教育学会総会、兵庫県公立高等学校教頭協会阪神支部教頭会、教育システム情報学会関西支部第10回学生研究発表会</p> |

〔1996年度（平成8年度）〕

| 内容 |
|---|
| <p>【運営方針・重点目標】 情報化社会に適応した、情報教育・研究に関する支援環境を整備し、センター設立の目的である「研究」及び「情報教育」に関する事業の拡大・深化を図る</p> |
| <p>【組織】 [センター長] 井上和郎（情報教育研究センター） [常任委員] 中植雅彦（教育）、濱谷英次（人間関係） [センター専任] 小野賢太郎（情報教育研究センター） 実習・事務担当：岡田由紀子、谷澤陽子、澤田佳子、山本由美子、後和早苗、山田菜穂子、林めぐむ、佐藤美千子</p> |
| <p>【情報処理教育委員会】 委員：市川真文（国文）、笹部徹（英文）、宮本紘平（教育）、保井俊英（体育）、濱谷英次（人間関係）、大森智子（環境）、宮崎由子（食物）、福井哲夫（情報）、中村伸吾（音楽）、高橋幸一（薬学）</p> |
| <p>【情報処理教育】 L2-31、E-401、演習室1・2・3・4、98ゾーン、W-11・12・14、MACゾーン、フリーゾーンで行われた科目は、前期2,623名、後期2,625名、特別学期941名、合計6,189名</p> |
| <p>【自主学习状況】 12,142名（注）数字は延人数</p> |
| <p>【文部省私学助成】 文部省平成8年度私立学校施設整備費補助金（教育装置）を受けて「情報教育コンピュータシステム」を東館4階（E-401）実習室に導入した</p> |
| <p>【教育ネットワーク（MIET）移設】 武庫川学院キャンパスネットワーク（MWU-net）構築に伴い、MIETのホストコンピュータの移設、入替え等を行った。8月1日学院ホームページ開設、97年3月10日MIET新メニュースタート</p> |
| <p>【IDの発行状況】 ID発行状況（MWU-net）は、学生165名、教職員123名、総合計288名。ID発行状況（MIET）は、学生1,895名、教職員他517名、総合計2,412名</p> |
| <p>【情報機器斡旋】 カラーノートパソコン・カラープリンタのセット販売を行った。OSをWindows95にし、メインメモリ増設、カラー液晶ディスプレイ、高速モデム搭載など、機器仕様を高機能化した。機器は、東芝DynaBookGT-S575とキャノンBJC-210J。本体とモデムの1年間完全無料保証付き</p> |
| <p>【利用講座】 購入者に対して、引き渡し時に基本操作について利用講座（無料）を開催。全学共通教育の斡旋機器使用科目受講者に対しては前期・後期とも第1回授業にて担当教員がガイダンスを行う</p> |
| <p>【全学共通教育科目】 情報処理教育科目の科目名が刷新され、使用するアプリケーションソフト別に開講。今年度斡旋機種で受講できる科目は「文書処理基礎」「データ処理基礎」「通信と情報利用基礎」</p> |

| |
|---|
| 【 斡旋状況 】1年生723名、2年生以上122名、教職員13名、合計858名が購入 |
| 【 ワープロ・パソコン検定 】OA機器ワープロ部門：第1回6月16日、第2回10月27日、第3回2月16日。パソコン表計算部門：第1回10月27日、第2回2月16日に実施した。年間合格者は、ワープロ2級25名、3級130名、パソコン3級11名 合計166名 |
| 【 ワープロ検定受験対策講座 】受講人数は、9月期41名と11月期25名に分けて開講。場所はW-12教室、担当講師は株式会社ダイトク インストラクトレス 新田晶子 |
| 【 施設見学 】八頭高校、兵庫県立西脇高校、芦屋市教育研究会、同志社女子大学、和歌山北高校PTA、中京大学、西宮市立春風小学校、筑紫女学園、夙川学院大学短大、産業医科大学、県立尼崎小田高校、日本薬学図書館協議会 |
| 【 施設利用 】国際電子ネットワーク教育学会研究会・総会、芦屋市教育研究会（インターネット講習会）、パーソナルコンピュータ実務講座（偕和会2回）、卒業研究発表会（大教4年中植・田村ゼミ） |
| 【 学術講演会 】テーマ：大学における情報環境の現状と未来 日 時：1996年12月20日（金） 場 所：第1部：基調講演 文学1号館204教室（視聴覚教室） 第2部：利用実習 公江記念館1階 情報教育研究センター 第1部：基調講演「大学の情報化と未来の大学教育」 講 師：静岡大学情報学部教授 永野和男氏 第2部：インターネット実習（中植常任委員の説明後、情報検索実習を行った） |
| 【 発行者 】情報教育センター年報'95（通巻第4号）（6月30日発行）センターニュース第2-1号（7月15日発行） |

〔1997年度（平成9年度）〕武庫川学院キャンパスネットワーク運営委員会発足

| 内容 |
|--|
| 【 運営方針・重点目標 】社会の情報化に対応した、情報活用能力の育成と研究に関する支援環境を整備する |
| 【 組織 】[総括]センター長：井上和郎（情報教育研究センター） 常任委員：中植雅彦（初等教育）、濱谷英次（人間関係）、宮本紘平（初等教育） センター専任：小野賢太郎（情報教育研究センター） 実習担当：岡田由紀子、林めぐむ、*山田菜穂子、*佐藤美千子、**福田有希、**前田幸子 事務担当：谷澤陽子、小林（澤田）佳子、山本由美子、*後和早苗、**松尾由貴子 （*年度途中退職、**後任として新規採用） |
| 【 情報処理教育委員会 】委員：市川真文（国文）、笹部徹（英文）、宮本紘平（初等教育）、保井俊英（体育）、濱谷英次（人間関係）、渡邊秀俊（環境・被服）、石崎由美子（食物・食物）、福井哲夫（情報）、中村伸吾（声学・器楽）、高橋幸一（薬学・生薬） |
| 【 情報処理教育 】L2-31、E-401、W-11、W-12、演習室1・2・3・4、MACゾーン、FMゾーンで行われた科目の受講者数は、前期2,413名、後期2,515名、特別学期953名の合計5,881名 |
| 【 全学情報処理教育施設・設備 】Windows95・NT対応のパソコンの全台数は208台、Macintoshパソコンの全台数は53台である。各実習室は、全ての機器がLAN接続されており、パソコンは全てインターネット端末となっている。センターではWindows95・NT対応パソコン10台、Macintosh製パソコン44台がインターネット端末になっている |
| 【 自主学习状況 】15,870名（注）数字は延人数 |
| 【 学院キャンパスネットワーク開会式 】1994年度より3ヵ年計画で進められていた工事が完了し、4月15日に、公江記念館1階 情報教育研究センターにて、構築に携わった業者および学内関係者を招いて開局式を行い、正式にネットワークの運用が始まった。総出席者数（38名） |
| 【 ID発行状況 】MWU-net 総合計1826名、MIET 総合計3,086名 |
| 【 利用状況 】インターネット過去3年間の利用者数推移。1995年245名、1996年3,163名、1997年7,765名と大幅に利用者が増加した |
| 【 利用ガイダンス（前期）・基礎講座（後期） 】MWU-netの開局にあわせ、ネットワークについてのガイダンス・講座を行った。前期は発行書配布時に「利用ガイダンス」を行い、後期は前期のガイダンスを見直し、より内容を充実させた「ネットワーク基礎講座」を開催し、守るべきマナーや注意点を説明 |

| |
|---|
| <p>【情報機器斡旋】昨年度に引き続いてカラーノートパソコン・カラープリントの斡旋を行った。メインメモリを24MBに増設、高速モデム(28.8kbps)を内蔵し、インターネットの利用も快適な環境となった。10倍速のCD-ROMを内蔵し音楽CDも再生が可能となるなど、さらに高機能となった</p> |
| <p>【利用講座・全学共通教育科目】今年度斡旋パソコン購入者を対象に、無料の利用講座を合計8回開催。斡旋パソコンを使用する全学共通教育科目として、1996・97年度斡旋パソコン対象「文書処理基礎Ⅳ」「データ処理基礎Ⅳ」「通信と情報利用基礎」を開講。なお、1994・95年度斡旋パソコン対象「文書処理基礎Ⅱ」「データ処理基礎Ⅱ」は前期のみ開講された</p> |
| <p>【斡旋状況】1年生593名、2年生以上63名、教職員6名、合計662名が購入。1997年度の斡旋台数は1996年度に比べ減少し、申込みほとんどが前期に集中した</p> |
| <p>【ワープロ・パソコン検定】ワープロ部門(2・3級)とパソコン表計算部門3級、年2回実施。第1回9月28日、第2回2月11日ワープロ部門(2・3級)とパソコン表計算部門3級。年間合格者は、ワープロ2級9名、3級90名、表計算3級4名 合計103名</p> |
| <p>【ワープロ検定受験対策講座】受講者は減少傾向。前期7月30・31日(48名)、後期12月6・13・20日(24名)。場所：西館1階W-12教室、講師：(株)ダイトク 新田晶子 インストラクトレス</p> |
| <p>【施設見学】県立尼崎小田高校、安田女子大学、金蘭短期大学、兵庫県立神出学園、西宮市甲山高校、聖徳大学、宮崎産業経営大学</p> |
| <p>【施設利用】国際電子ネットワーク教育学会(AGENE)理事会・国際電子ネットワーク教育学会(AGENE)研究会(国際電子ネットワーク教育学会)、パソコン研修会(西宮市立小学校教育研究会視聴覚部会)、パソコン研修会(西宮市立小・養護学校教頭会)、事務職員対象パソコン研修会(事務システム開発室)、第2回パーソナルコンピュータ実務講座(偕和会研修事業部)、卒業研究発表会(大教4・3・2年中植・大教4年田村ゼミ)、第3回パーソナルコンピュータ実務講座(偕和会研修事業部)</p> |
| <p>【学術講演会】テーマ：マルチメディア環境・ネットワーク環境の活用に向けて 開催名：アジア太平洋教員サミット 共 催：国際電子ネットワーク教育学会(AGENE) (後援：兵庫県教育委員会、京都府教育委員会、国際コミュニケーション基金(ICF)) 開催期間：1997年12月13(土)・14日(日) 場 所：武庫川女子大学音楽館ホール(基調講演)、L2-11教室(第1日目研究発表) L2-23教室(2日目全大会)、L1-5・6階教室(分科会7会場)</p> <p>■第1日目 基調講演「教育におけるインターネットの未来について」 講 師：アメリカオンラインジャパン株式会社取締役 北原保之氏 研究発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを用いた学校間交流 デービット・トーマス(モンタナ大学) Meet me in Montana:Internet-based Research & Development ・英語教育って良くできるかな? 谷口朗(大阪府立住吉高校) ・「IT Policy for Education at a European Level,what the future holds」 アルフ・ランデウン(ヨーロッパ・スクールネットワーク推進委員会) ・学習社会における連携—The Road Ahead Project ビッキー・カジオカ(ハワイ教育省) ・学校間交流プログラム アジア高校生インターネット交流プロジェクト 浦田治(三重県菰野高校) <p>■第2日目 午前：全体会 分科会説明プレゼンテーション ゲストスピーカーを囲むグループ討議(7会場) 午後：ゲストスピーカーを囲むグループ討議(7会場) 全体会 分科会の報告と質疑</p> <p>参加者：学内23名、学外126名(海外から25名)</p> |

| |
|---|
| <p>【発行物】センターニュース第2-2号（4月5日発行）、情報教育センター年報'96（通巻第5号）（8月30日発行）、センターニュース第3-1号発行（3月15日発行）</p> |
| <p>4月1日より、武庫川学院キャンパスネットワーク運営委員会規程、武庫川学院キャンパスネットワーク運用規約、武庫川学院キャンパスネットワーク運用細則が施行</p> |
| <p>【学院キャンパスネットワーク運営委員会】委員長：井上和郎 委員：濱谷英次、中植雅彦、小野賢太郎、島田博司、笹部徹、甫天正靖、白尾嘉章、高橋幸一、辻武夫、大西信義、中村徳雄、小坂恒生（庶務は事務システム開発室）</p> |

〔1998年度（平成10年度）〕マルチメディア環境整備

| 内容 |
|--|
| <p>【運営方針・重点目標】社会の情報化に対処した、情報活用能力の育成と研究に関する支援環境を整備する</p> |
| <p>【組織】〔総括〕センター長：濱谷英次（人間関係） 常任委員：中植雅彦（初等教育）、宮本紘平（初等教育）、小野賢太郎（共通教育） 実習担当：岡田由紀子、山本由美子、林めぐむ、福田有希、前田幸子 事務担当：谷澤陽子、小林佳子、鶴田真由美</p> |
| <p>【情報処理教育委員会】委員：塩出雅（国文）、笹部徹（英文）、宮本紘平（初等教育）、保井俊英（体育）、丸山健夫（人間関係）、AA.ペインター（生活環境）、石崎由美子（食物栄養）、田中榮一（生活情報）、菅井邦介（声学・器楽）、高橋幸一（薬学・生薬）</p> |
| <p>【情報処理教育】L2-31、E-401、W-11・12、演習室1・2・3・4、WINゾーン、オープンフロアで行われた科目の受講者数は、前期2,610名。後期2,445名、特別学期1,158名、合計6,213名</p> |
| <p>【全学情報処理教育施設・設備】Windows95・98・NT対応のパソコンの全台数は261台、Macintoshパソコンの全台数は53台である。各実習室は、全ての機器がLAN接続されており、パソコンは全てインターネット端末となっている。センターではWindowsNT対応パソコン60台、Macintosh製のパソコン44台がインターネット端末となっている</p> |
| <p>【自主学习状況】37,773名（注）数字は延べ人数（1998年4月～1999年3月末）</p> |
| <p>【情報処理基礎教育システム導入】マルチメディア時代にふさわしい情報活用能力を育成し基礎的情報教育の強化を図ることを目的に、文部省平成10年度私立大学等経常費補助金特別補助（情報化推進特別補助－「情報処理関係設備（借入）」を受けて、センターに「情報処理基礎教育システム」導入</p> |
| <p>【ID発行状況】MWU-net 総合計2,419、MIET 総合計5,002。MWU-netと同様、年々MIETのID取得者数が増加している</p> |
| <p>【IP発行状況】グローバルIPの発行数が年々増加している。この他マルチメディア教室、一部学科はローカルIPによる接続をしている</p> |
| <p>【教職員ネットワーク講座】教職員を対象として、本学のネットワークについて基本的な事項や利用方法を解説する講座を実施。「ネットワーク再入門」（12月11日）受講者48名、「電子メール再入門」（12月14日）受講者48名、合計96名</p> |
| <p>【学院キャンパスネットワーク整備状況】文部省の私立大学施設整備費補助金（学内LAN）を受けてネットワーク支線部分の増強を行った。主な内容は、情報教育環境の整備と情報検索環境の整備</p> |
| <p>【情報機器斡旋】昨年度同様、ノートパソコン（東芝 DynaBook Satellite PA1261S9/MWU）とカラープリンタ（キヤノン BJC-250J）の斡旋を行う。CPUはMMX-Pentium166MHz、メインメモリを32MB、ハードディスクを2.1GB、16倍速CD-ROM、高速モデム（33.6kbps）を内蔵し、学院教育ネットワーク及び学院推奨プロバイダAOLの接続設定も行った</p> |
| <p>【利用講習会・全学共通教育科目】斡旋パソコンの購入者を対象として無料講習会を開催した。また、斡旋パソコンを使用する全学共通教育科目として「テキスト情報処理演習Ⅱ」「データ処理演習Ⅱ」「ネットワーク利用演習Ⅱ」「プレゼンテーション基礎演習Ⅱ」が開講された</p> |
| <p>【斡旋状況】1年生502名、2年生以上75名、教職員9名、合計586名が購入。不況などの社会情勢や、家庭へのパソコンの普及などから、3年連続での減少となった</p> |

| |
|---|
| <p>【ワープロ・パソコン検定】(コンピュータサービス技能評価試験) 第1回9月14日実施、第2回12月23日実施。合格者数は、ワープロ2級3名、ワープロ3級97名、表計算3級3名</p> |
| <p>【ワープロ検定受験対策講座】前期：7月、後期：11・12月。前期受講者(45名)、後期受講者(49名) 場所：西館W-11教室、講師：株式会社ダイトク 福原真実インストラクター</p> |
| <p>【施設見学】奈良県立富雄高等学校、大阪府教育センター、関西電子情報産業協同組合、中国紹興市留学生、徳島文理大学</p> |
| <p>【施設利用】[学外]第3回教育工学研究部会(芦屋市立打出教育文化センター)、平成10年度兵庫県数学教育会高等学校部会阪神支部研究協議会(兵庫県数学教育会高等学校部会阪神支部)、国際電子ネットワーク教育学会(AGENE)研究会(国際電子ネットワーク教育学会(AGENE))、教育システム情報学会第70回研究会(教育システム情報学会情報教育研究部会)</p> |
| <p>【施設利用】[学内]事務職員対象パソコン研修会(事務システム開発室)、第2回パーソナルコンピュータ実務講座(偕和会研修事業部)、事務職員対象パソコン研修会(事務システム開発室)、卒業論文発表・審査会(大人4年)、卒業研究発表会(大教4年田村・中植ゼミ)、第3回パーソナルコンピュータ実務講座(偕和会研修事業部)</p> |
| <p>【学術講演会】参加者数(延べ52名) 日 時：1999年2月22(月) 場 所：武庫川女子大学情報教育研究センター オープンフロア テーマ：マルチメディア環境・ネットワーク環境の活用に向けて ■第1部 基調講演「テレビ会議システムによる授業改善—その実践と利用方法」 講 師：文部省・大学共同利用機関 メディア教育開発センター教授 小林登志生氏 ■第2部 ネットワーク活用のための実習</p> |
| <p>【マルチメディア環境整備】マルチメディア装置施設が文部省私学助成を受けて整備され、全学共用教室等で教材提示装置などの授業支援機能を強化した教室を「マルチメディア教室」と呼ぶことになった。各学科実習教室等にも学科の専門性に応じた教材提示の環境改善等のマルチメディア化が行われた</p> |
| <p>【マルチメディア教室の管理・運用に関する連絡会】マルチメディア教室が有効に活用されるまでの関連事務部署による連絡会として1999年1月に発足した。また、マルチメディア教室の利用説明会が1999年3月に教職員対象に開催され、「マルチメディア教室利用ガイド」の配布・説明と操作実習を行った</p> |
| <p>【マルチメディア教室の管理・運用に関する連絡会】委員長：濱谷英次、顧問：大河原量(事務局長)、顧問：今安達也(教学局長)、委員：中野鉄三郎(経理部長)、公江茂(財務課長)、夏原正弘(用度課長)、天野榮治(管理課長)、松田孝(設備課長)、原橋茂(システム開発課長)、吉川一(教務課長)、土屋親(学生課長)、辻武夫(図書課長)、森本恵三(文学部事務長)、井上悟(生活環境学部事務長)、橘正彰(音楽学部事務長)、松村一郎(薬学部事務長)</p> |
| <p>【発行物】センターニュース第41号発行(1998年10月15日) センターニュース第42号発行(1998年3月10日) 情報教育研究センター年報'97(通巻第6号)発行(1998年8月30日) マルチメディア教室整備の取り組みの手引き発行(1999年1月20日)</p> |
| <p>【学院キャンパスネットワーク運営委員会】委員長：濱谷英次 委員：小野賢太郎、中植雅彦、笹部徹、甫天正靖、福井哲夫、高橋幸一、辻武夫、大西信義、中村徳雄、原橋茂</p> |

〔1999年度(平成11年度)〕学生貸与パソコンの導入始まる

| 内容 |
|--|
| <p>【運営方針・重点目標】社会の情報化に対応した、情報活用能力を育成と研究に関する支援環境を整備する</p> |
| <p>【組織】[総括]センター長：濱谷英次(人間関係) 常任委員：中植雅彦(初等教育)、宮本紘平(初等教育)、小野賢太郎(共通教育) 専任助手：岡田由紀子 非常勤副手：井田尚美、河村さつき、林めぐむ、藤野絢子、前田幸子、馬壁美奈、宮本真紀、山本由美子、吉田優里 事務室：上元晋也(事務長)、谷澤陽子、小林佳子、鶴田真由美</p> |

| |
|---|
| <p>【情報処理教育委員会】委員：塩出雅（国文）、笹部徹（英文）、宮本紘平（初等教育）、保井俊英（体育）、丸山健夫（人間関係）、吉田恭子（生活環境）、石崎由美子（食物栄養）、田中榮一（生活情報）、今城道子（音楽・器楽）、高橋幸一（薬学・生薬）</p> |
| <p>【情報処理教育】L2-31、E-401、S-21、S-35、S-37、L2-27、演習室1・2・3・4、WIN-R、WIN-L、WINゾーン、オープンフロアの教室で行われた。情報処理教育の科目は、前期 3,497 名。後期 3,246 名、特別学期 1,007 名、合計 7,750 名</p> |
| <p>【自主学習状況】65,019 名（注）数字はのべ人数</p> |
| <p>【マルチメディア基礎教育システム】マルチメディア情報教育の強化を図ることを目的に、文部省 1999 年度私立大学等経常費補助金特別補助（情報化推進特別補助「情報処理関係設備（借入）」を受けて、センター（公江記念館 1 階）に「マルチメディア基礎教育システム」を導入</p> |
| <p>【学生貸与パソコンの導入】「1999 年度情報リテラシー教育用パソコン」としてノート型パソコンを導入し、共通教育科目「ネットワーク利用演習Ⅲ」及び「卒業研究」などのゼミ・演習科目の履修学生に対して一定期間の貸出しを行った。（80 台）</p> |
| <p>【ID 発行状況】MWU-net 総合計 4,824、MIET 総合計 6,621。MWU-net と同様、年々 ID 取得者数が増加している</p> |
| <p>【IP 発行状況】グローバル IP 発行状況（合計 508）。本年度一部学科がローカル IP による接続に変更したためグローバル IP 発行数は昨年度より減少。ローカル IP での接続状況（生活情報学科、食物栄養学科*、生活環境学科*、薬学部、人間関係学科コンピュータ教室、体育コンピュータ教室、生活情報コンピュータ教室、情報教育研究センター*、マルチメディア教室*、図書館*）※DHCP サーバーにてローカル IP 自動割当てとなっている</p> |
| <p>【ネットワーク利用講習会】学生はキャンパスネットワーク利用 ID 発行時に必ず「ネットワーク利用講習会」を受講することとした。（個人での申込みのみ。授業利用でクラス一括での申込みの場合は授業時に担当教員より講習会の内容を指導してもらう。講習会：54 回（受講者数合計は 1,256 名）</p> |
| <p>【学院キャンパスネットワーク整備状況】文部省の私立学校施設整備費補助金（学内 LAN）を受けてネットワーク中枢部分および支線部分の強化を行った</p> |
| <p>【情報機器斡旋】昨年度に引き続いて、ノートパソコンとカラープリンタの斡旋を行った。特徴は、CPU は AMD-K6-2 300MHz、メインメモリを 60MB、ハードディスクを 4.3GB、ALL in One CD-ROM+FDD、高速モデム（56kbps）を内蔵とし、昨年度の機種にまして利用環境が高性能となった</p> |
| <p>【パソコン講習会・全学共通教育科目】購入者対象に無料講習会を開催。内容は、Windows98、Word98、Excel97 に関する基礎的な内容。斡旋パソコンを使用する全学共通教育科目として「テキスト情報処理演習Ⅱ」「データ処理演習Ⅱ」「ネットワーク利用演習Ⅱ」「プレゼンテーション基礎演習Ⅱ」を開講</p> |
| <p>【斡旋パソコン無料講習会実施状況】講習会はアプリケーション別とし、開催日を共通教育科目開講日にあわせた。受講人数は講座開講日（4 月 26 日～10 月 25 日）9 日間で 407 名</p> |
| <p>【斡旋状況】斡旋台数（1 年生 446 名、2 年生以上 47 名、教職員 9 名、合計 502 名）1999 年度の斡旋台数は、昨年度より減少し、1996 年度以降 4 年連続での減少となった</p> |
| <p>【ワープロ・パソコン検定】第 1 回 9 月 14 日実施、第 2 回 2 月 11 日実施。合格者数は、ワープロ 2 級 2 名、ワープロ 3 級 44 名、表計算 3 級 7 名</p> |
| <p>【ワープロ検定受験対策講座】前期：7 月、後期：11・12 月。前期受講者（26 名）、後期受講者（19 名）と受験者は減少傾向。場所：南館 S-21、講師：株式会社ダイトク 福原真実インストラクター</p> |
| <p>【施設見学】西宮市立総合教育センター研修課研究研修係、大阪樟蔭女子大学、ハワイ大学、神戸商船大学、大妻女子大学、兵庫県立加古川北高等学校、兵庫県立津名高等学校、大阪府立長尾高等学校、兵庫県立生野高等学校、兵庫県立伊丹北高等学校、兵庫県大学図書館協議会総会</p> |
| <p>【施設利用】[学外] 兵庫県教育工学会勉強会（兵庫県教育工学会員）、Web-db 勉強会（学外の学校教員：中植）</p> |
| <p>【施設利用】[学内] 事務職員対象パソコン研修会（事務システム開発室）、第 1 回パーソナルコンピュータ実務講座（偕和会研修事業部）、事務職員対象パソコン研修会（事務システム開発室）、卒業研究発表会（大教 4 年中植・田村ゼミ）、第 3 回パーソナルコンピュータ実務講座（偕和会研修事業部）</p> |

| |
|---|
| <p>【学術講演会】</p> <p>■武庫川学院創立 60 周年記念シンポジウム 参加者：約 100 名（学外参加者約 30 名） 日 時：1999 年 10 月 29 日（金）9：00～12：00（アメリカ西海岸時間 28 日（木）17：00～20：00） 場 所：武庫川女子大学情報教育研究センター オープンフロア（中央キャンパス 公江記念館 1F） テーマ：21 世紀における教育環境としてのネットワークとマルチメディア プログラム：9：45 デモンストレーション「新しい教育環境としてのテレビ会議システム」 10：30 シンポジウム「新教育方法への提案」 —新しい教育環境、テクノロジーと教育の可能性— テレビ会議パネリスト：カーリー・スナイダー（ボストン科学博物館副館長）ビデオ提案 ジャクリーン・ジョンソン（セント・マーチンズ大学教授） デビー・ヘール（ワシントン州 ESD113 教育学区指導主事） 小林登志生（メディア教育開発センター教授） 濱谷英次（武庫川女子大学教授） 司会：中植雅彦</p> <p>■学術教育ワークショップ 参加者：本学教職員 27 名 日 時：2000 年 3 月 14 日（火）10：00～12：00 場 所：武庫川女子大学情報教育研究センターオープンフロア（中央キャンパス 公江記念館 1F） テーマ：大学における教育の現在と未来を考える 内 容：センター監修のビデオから抜粋して紹介し、その後、意見交換と討議を行った。 「高等学校におけるマルチメディアの活用（国内編）」 「高等学校におけるマルチメディアの活用Ⅱ（海外編）」</p> |
| <p>【教員対象パソコン講座】 マルチメディア装置の整備に伴い、装置の活用を促進するため、マルチメディア教材作成の支援として教員を対象に Windows、Word、Excel、PowerPoint の講座を開催。前期 4 回、後期 11 回、受講者 122 名。講師：富士通オフィス機器株式会社インストラクター</p> |
| <p>【マルチメディア環境整備】 1999 年度にも新たにマルチメディア環境（教室）の整備が行われ、卓の使用法をまとめた手引きを発行し、教職員に配布を行った。マルチメディア教室の管理、運用に関する連絡会（6 月 8 日、3 月 14 日）</p> |
| <p>【発行物】「マルチメディア教室利用の手引き」武庫川女子大学・同短期大学部情報教育研究センター編（4 月）、センターニュース第 5-1 号発行（6 月 20 日）、センターニュース第 5-2 号発行（12 月 15 日）、「情報教育研究センター年報'98」（通巻第 7 号）発行（11 月 30 日）</p> |
| <p>科学研究費「モバイル機器を利用した学習活動のマルチメディア化に関する研究」濱谷英次・宮本紘平・中植雅彦・小野賢太郎・岡田由紀子</p> |
| <p>【学院キャンパスネットワーク運営委員会】 委員長：濱谷英次 委員：小野賢太郎、中植雅彦、笹部徹、甫天正靖、白尾嘉章、高橋幸一、森本恵三、大西信義、中村徳雄、原橋茂、吉川一、上元晋也</p> |

〔2000 年度（平成 12 年度）〕1 日で新入生全員に電子メールアドレス発行。外部の専門講師による授業導入。個人所有パソコンの斡旋終了

| 内容 |
|--|
| <p>【運営方針・重点目標】社会の高度情報化に対応した情報環境の実現と教育の情報化に関する支援環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア環境の整備と活用に関する調査・研究を推進する。 ・キャンパスネットワークの効率的な運用と教育利用に関する調査・研究を推進する ・大学教育としての情報教育の在り方に関する調査・研究を推進する。 |
| <p>【組織】〔総括〕センター長：濱谷英次（人間科学） 常任委員：中植雅彦（英語文化）、宮本紘平（初等教育）、小野賢太郎（共通教育）、福井哲夫（生活情報） 専任助手：岡田由紀子 非常勤助手・副手：前田幸子、河村さつき、馬壁美奈、宮本真紀、富田裕子、富永安美、井田尚美 事務室：上元晋也、谷澤陽子、小林佳子、松本芳江、（鶴田真由美）、（藤田愛子）、（植田むつみ）</p> |

| |
|--|
| <p>【情報処理教育委員会】委員：塩出雅（日文）、笹部徹（英文）、宮本紘平（初等教育）、保井俊英（健康・スポーツ）、白瀧貞昭（人間科学）、吉田恭子（生活環境）、石崎由美子（食物栄養）、田中榮一（生活情報）、今城道子（音楽・器楽）、扇間昌規（薬学・生薬）</p> |
| <p>【情報処理教育】L2-31、E-401、S-21、S-22、S-35、S-36、S-37、演習室 2・3・4、オープンフロアで実施された情報処理教育科目の受講者数は、前期 2,927 名。後期 3,179 名、特別学期 967 名、合計 7,073 名</p> |
| <p>【自主学習状況】63,241 名（注）数字はのべ人数</p> |
| <p>【「平成 12 年度マルチメディア演習システム」導入】ビデオ情報の加工・編集に対して十分な能力のある PC を用いてマルチメディア教育を行うため、私学振興・共済事業団「平成 12 年度私立大学等経常費補助金特別補助（情報化推進特別補助－「情報処理関係設備（借入）」を受けてセンターに導入</p> |
| <p>【学生貸与パソコンの導入】2000 年度は B5 型ノートパソコンを追加導入。共通教育科目「ネットワーク利用演習Ⅲ」の履修学生および「卒業研究」などゼミへの貸し出しを行う。貸出台数は 250 台、前年度 250 台とあわせて 500 台となった</p> |
| <p>【外部委託の導入】2000 年度より情報処理教育（実習）における、外部委託（アウトソーシング）の取り組みを導入した。委託業者は、株式会社 富士通ラーニングメディア</p> |
| <p>〔背景〕基礎的情報科目への受講希望の増大から、共通教育科目での関連科目充実の必要性があり、学科専門科目の情報化対応の広がりから、センターへの支援要請がある。今後こうした傾向が強まると予想され、結果として、教育スタッフ（教員、サポート要員）の慢性的な不足が生じる</p> |
| <p>〔対策〕当面、現有の実習設備を前提に情報関連講座の開講数の増加を図る。教育スタッフ、教育レベルを確保するため、基礎教育の一部を専門業者に外部委託する。教育スタッフは、メインインストラクターとサブインストラクターから構成される</p> |
| <p>〔期待される効果〕開講講座数に応じた教育スタッフの確保。操作や応用ソフトへの習熟など、基本的な情報リテラシー教育の徹底と均質化。社会状況等を反映した教育内容の具体化と、大学としての教育目標の徹底</p> |
| <p>〔他大学の状況〕本学と同様の課題を抱えており、外部委託している例が増えている。国立大学でも外部委託している例がある。いくつかの私立大学では外部委託の規模を拡大する方向で検討している</p> |
| <p>〔実施科目〕【前期】共通教育「情報処理入門Ⅰ」6、共通教育「テキスト情報処理演習Ⅰ」3、短日 1ABCD「パソコン実習 A」4、【後期】共通教育「情報処理入門Ⅰ」4、共通教育「テキスト情報処理演習Ⅰ」3、短日 1ABCD「パソコン実習 B」4、大食 1ABCD「コンピュータ入門」4 合計 28 コマ</p> |
| <p>【ID 発行状況】MWU-net 総合計 7,596、MIET 総合計 8,353。MWU-net・MIET とともに、4 月に一括発行を行ったため、学生の ID 取得者数が急増した</p> |
| <p>【IP 発行状況】グローバル IP 発行状況（合計 548）。ローカル IP での接続状況（生活情報学科、食物栄養学科*、食生活学科*、生活環境学科*、生活造形学科*、薬学部、日本語日本文学科、日本語文化学科、英語文化学科、英語コミュニケーション学科、人間科学科、人間関係学科、健康・スポーツ科学科、健康・スポーツ学科、情報教育研究センター*、マルチメディア教室*、図書館*）※DHCP サーバーにてローカル IP 自動割当てとなっている</p> |
| <p>【ネットワーク利用講習会】学生は、キャンパスネットワーク利用 ID 発行時に必ず「ネットワーク利用講習会」を受講することになっている。（個人での申込のみ。授業利用でクラス一括での申込の場合は授業時に担当教員より講習会の内容を指導してもらう）後期より、再設定時にも必ず「ネットワーク利用講習会」を受講することになった。講習会：52 回（受講者数合計は 1,094 名）</p> |
| <p>【学院キャンパスネットワーク整備状況】文部省の私立学校施設整備費補助金（学内 LAN）を受け、キャンパスネットワーク支線部分の拡張および増速を行った</p> |
| <p>【ワープロ・パソコン検定】2000 年度は、個人所有パソコンの斡旋終了を受けて、斡旋機器で受験する検定および受験対策講座の最終実施となった。11 月 23 日（祝）実施。合格者数は、ワープロ 2 級 0 名、ワープロ 3 級 5 名、表計算 3 級 4 名</p> |
| <p>【ワープロ検定受験対策講座】2000 年度は、情報機器斡旋の終了を受けたワープロ検定の最終実施に対応して、当受験対策講座も最終開催となった。開講日時：10 月 7・14・21 日、受講者（6 名）。場所 KM-105、講師：株式会社 ダイタク インストラクター</p> |

| |
|---|
| <p>【施設見学】麗澤高校（自学センター部長）、小豆島高校（教諭）、香川県飯山高校（教諭）、兵庫県姫路南高校（教諭・保護者）、香寺高校、兵庫県立志知高等学校（生徒）</p> |
| <p>【施設利用】事務職員対象パソコン研修会（事務システム開発室）、第2回パーソナルコンピュータ実務講座（偕和会研修事業部）、卒業研究発表会（大教中植ゼミ3・4年）、卒業研究発表会（大教中植ゼミ2・3・4年）、卒業研究・教育演習発表会（大教田村ゼミ2・3・4年）、第3回パーソナルコンピュータ実務講座（偕和会研修事業部）</p> |
| <p>【学術講演会】参加者42名 日 時：2001年3月8日（木） 場 所：武庫川女子大学情報教育研究センター オープンフロア 講 演：これからの大学におけるマルチメディア教材の開発 講 師：武庫川女子大学 薬学部教授 松山賢治 氏 講演後、参加者による意見交換</p> |
| <p>【教員対象パソコン講座】マルチメディア装置の整備に伴い、装置の活用を促進するためマルチメディア教材作成の支援として教員を対象に「教材作成に役立つパソコン講座」を開催した。タグを使ったホームページ作成、Word、Excel、PowerPoint等の講座を開催。前期3回、後期9回、受講者数116名。 場所：センター内演習室2、講師：富士通オフィス機器株式会社インストラクター</p> |
| <p>【マルチメディア環境整備】2000年度はマルチメディア環境（教室）の調整や補強・消耗品交換等を行い、利用の手引きを教職員に配布した。また、「マルチメディア教室の管理・運用に関する連絡会」を10月30日に開催した</p> |
| <p>【マルチメディア環境整備】「マルチメディア教室の管理運用に関する連絡会」を10月30日に開催した。2000年は装置の調整や補強・消耗品交換等を行い、利用の手引きを教職員に配布した</p> |
| <p>【発行物】「情報教育研究センター年報'99」（通巻第8号）発行（12月1日）、「遠隔授業システムの利用手引き」印刷・配布（2001年3月7日）、情報教育研究センターニュース 第6-1号（5月31日発行）、情報教育研究センターニュース 第6-2号（12月20日発行）</p> |
| <p>【学院キャンパスネットワーク運営委員会】委員長：濱谷英次 委員：中植雅彦、福井哲夫、小野賢太郎、塩出雅、牛田智、高橋幸一、中村徳雄、原橋茂、大西信義、吉川一、森本恵三、上元晋也</p> |

〔2001年度（平成13年度）〕

| 内容 |
|--|
| <p>【運営方針・重点目標】社会の高度情報化に対応した情報環境の実現と教育の情報化に関する支援環境を整備する</p> |
| <p>【組織】総括：センター長：濱谷英次（人間） 事務長：上元晋也 常任委員／研究員 中植雅彦（英文）、宮本紘平（教育）、福井哲夫（情報）、小野賢太郎（共通） 専任助手：岡田由紀子 事務関係：谷澤陽子、田中邦子、小林佳子、松本芳江、藤田愛子（臨時職員） 非常勤助手・副手：三島幸子、河村さつき、馬壁美奈、宮本真紀、富田裕子、富永安美</p> |
| <p>【情報処理教育委員会】委員：塩出雅（国文）、笹部徹（英文）、萬代悟（教育）、保井俊英（健康）、白瀧貞昭（人間）、吉田恭子（環境）、宮崎由子（食物）、太田健一（情報）、今城道子（音楽）、内田享弘（薬学）</p> |
| <p>【情報処理教育】L2-31、E-401、S-22、S-35、S-36、S-37、H2-B6、演習室2・3・4、L1-204、H2-B6で実施された情報処理教育科目の受講者数は、前期5,008名。後期3,749名、特別学期610名、合計9,367名</p> |
| <p>【自主学习状況】67,015名（注）数字はのべ人数</p> |
| <p>【学生貸与パソコン】2001年度は共通教育科目「ネットワーク利用演習Ⅲ」、特別学期全学プログラム「ホームページを公開しよう①②③」の受講学生および「卒業演習」・「卒業研究」などゼミへの貸し出しを行った</p> |
| <p>【外部委託の導入】2001年度は1年次の学科科目の中で情報基礎教育科目と位置づけて全学的（一部学科を除く）な取り組みとして実施した。委託業者：株式会社 富士通ラーニングメディア</p> |
| <p>〔実施状況〕前期：共通教育「情報処理入門Ⅰ」「情報活用の基礎」「情報機器の操作Ⅰ」「情報活用基礎演習」「基礎薬学情報学Ⅰ」計3,280名。後期：共通教育「情報処理入門Ⅰ」「情報活用の応用Ⅰ」「情報活用の応用」「情報機器の操作Ⅱ」「基礎薬学情報学Ⅱ」計2,383名。合計5,663名</p> |
| <p>【ID発行状況】MWU-net 総合計9,089、MIET 総合計9,492</p> |

| |
|---|
| <p>【IP 発行状況】 グローバル IP 発行状況は、合計 563。ローカル IP での接続状況は、大情、大食*・短食*、大環*・短食*、大葉、大日・短日、大英・短英、大人・短人、大健・短健、情報教育研究センター*（2002 年 2 月上旬迄）、マルチメディア教室*、図書館*、マルチメディア館（2002 年 2 月より固定 IP 割当）、公江記念館 [就職課]（2002 年 3 月より固定 IP 割当）※DHCP サーバーにてローカル IP 自動割当てとなっている</p> |
| <p>【ネットワーク利用講習会】 キャンパスネットワーク利用者 ID 新規申請者、パスワード再発行申請者は必ず「ネットワーク利用講習会」を受講することになっている。教職員も 2001 年度より講習会の受講を必須とした。講習会：54 回（受講者数合計は 971 名）</p> |
| <p>【学院キャンパスネットワーク整備状況】 ①文部省の私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費補助金 情報通信装置（学内 LAN）を受け、教育研究環境の抜本的な改善のために新築された日下記念マルチメディア館へのキャンパスネットワークの拡張を行った。その他、②サーバ増強・システム増強、③学術情報ネットワーク（SINET）への接続移行、④ネットワーク機器用無停電電源装置（UPS）増強、⑤MIET サーバ機の USP バッテリー交換を行った</p> |
| <p>【教員対象パソコン講座】 教員を対象に「教材作成に役立つパソコン講座」を開催した。前期は、Word 基礎、Excel 基礎、PowerPoint 基礎、タグを使ったホームページ作成を開催し、後期は、PowerPoint 基礎、実践プレゼンテーション、Excel 応用・発展Ⅰ・発展Ⅱ、WORD 応用タグを使ったホームページ作成、ツールを使ったホームページ作成の講座を開催。受講者合計数 61 名。場所：センター内演習室 2、講師：富士通オフィス機器株式会社インストラクター</p> |
| <p>【マルチメディア環境整備】 マルチメディア教室について、授業をはじめとする教育活動に利用する度合いが高まっている。当該教室の AV 設備の機能を導入当初の水準に維持し、教育活動が円滑に行われるよう、本年度より定期的な保守点検および修理を行った。また、その他にも消耗品交換等を行った。年間 2 回の保守点検および簡易修理。業者：日本通信小野特機株式会社（ジャトー株式会社）</p> |
| <p>センター新館移転作業（2002 年 2 月 4～8 日）</p> |
| <p>【施設見学】 大健 1B、大食 1A、短食 1B、短食 1C、大食 1D、大情 1B、メディア教育開発センター、大人 1A、大阪市立大学、地域別教育懇談会、安田女子大学</p> |
| <p>【施設利用】 PC 実務講座(偕和会)、PsyncINFO 講習会（図書館）、知的障害のある人の夏季大学（教育学科大員）、P 検対策講座、P 検試験、PC 実務講座（偕和会）</p> |
| <p>【発行物】「情報教育研究センター年報 2000」（通巻第 9 号）発行（2002 年 3 月 1 日）</p> |
| <p>【学院キャンパスネットワーク運営委員会】 委員長：濱谷英次 委員：塩出雅、中植雅彦、牛田智、福井哲夫、高橋幸一、小野賢太郎、清水恵子、坂本正孝、原橋茂、大西信義、吉川一、森本恵三、上元晋也</p> |

〔2002 年度（平成 14 年度）〕【日下記念マルチメディア館竣工：5 月 13 日】

| 内容 |
|--|
| <p>【運営方針・重点目標】 社会の高度情報化に対応した情報環境の実現と教育の情報化に関する支援環境を整備する。特に 2002 年度は、マルチメディア館の完成に伴い、各種システムの導入が行われ、新たな業務が生じたことを踏まえつつ、既存業務との調整を行う。また、センター業務全般の拡大、それに伴う人員増などを踏まえ、教育職、事務職との連携の在り方についても検討を加え、将来に向けた体制作りを引き続き取り込む</p> |
| <p>【組織】・[総括] センター長：濱谷英次 ・教員関係 [常任委員／研究員] 中野彰、宮本紘平、福井哲夫、小野賢太郎 [研究員] 中植雅彦、保井俊英 [専任助手] 岡田由紀子 ・非常勤助手・副手：三島幸子、河村さつき、馬壁美奈、富田裕子、富永安美、藤井泉、橋本葉子、村上知香 ・事務関係 上元晋也（事務長）、谷澤陽子、田中邦子、小林佳子、馬殿ひとみ、松本芳江、江河弥生（臨時職員） ／田坂雅美（臨時職員）</p> |
| <p>【情報処理教育委員会】 委員：中野彰（日文）、笹部徹（英文）、萬代悟（教育）、徳家雅子（健康）、井上雅勝（人間）、吉田恭子（環境）、宮崎由子（食物）、赤岡仁之（情報）、今城道子（音楽）、内田享弘（薬学）</p> |
| <p>【ID 発行状況】 MWU-net 総合計 9,765、MIET 総合計 9,897</p> |

| |
|---|
| <p>【IP 発行状況】グローバル IP 発行状況は、研究室、サーバ、ネットワーク基幹機器等、その他、合計 391。ローカル IP での接続状況は、中央図書館、文学 1 号館、文学 2 号館、東館、南館、生活環境 1 号館・別館、生活環境 2 号館、マルチメディア館、第 1 体育館、公江記念館、浜甲子園キャンパス</p> |
| <p>【ネットワーク利用講習会・センター利用説明会】4 月よりセンターがマルチメディア館（MM 館）でパソコンを開放するにあたり、「ネットワーク利用講習会」と MM 館のパソコン（センターオープンフロアを含む）の利用方法の説明を目的とした「センター利用説明会」を同時開催した</p> |
| <p>【同上】対象者は、利用者 ID 申請者、パスワード再設定申請者、センター及びマルチメディア館のパソコン利用者。受講者合計は、「ネットワーク利用講習会」7,780 名、「センター利用説明会」7,478 名（教職員含む）パスワード再設定申請者で一度、利用説明会を受講した人は、説明会の受講を免除した</p> |
| <p>【MM 館教育用コンピュータシステム導入】全学情報教育・研究のより一層の充実・発展を目指し、平成 14 年度私立大学等経常費補助金 私立大学教育研究高度化推進特別補助 高度情報化推進特別経費「情報通信設備（借入）」を受け、「平成 14 年度 MM 館教育用コンピュータシステム」を導入</p> |
| <p>【MM 館教育用ソフトウェア導入】また、文書処理、データ処理、グラフィックス等のソフトウェアを、平成 14 年度私立大学等経常費補助金 私立大学教育研究高度化推進特別補助 高度情報化推進特別経費「教育研究用ソフトウェア」を受けて導入した</p> |
| <p>【MM 館教育用コンピュータシステム】これらのパソコンは 1・2・3・4・8 階の 5 フロア・10 教室に分散配置されているため、ネットワーク経由での教育用ソフトウェアの自動配信や機器障害の常時監視等の機能を有している</p> |
| <p>【MM 館教育用コンピュータシステム導入場所】コンピュータ実習室等：MM-106、107、109、201、301～307、401～403、406～408、808、812。研究室・サーバ室等：MM-203～205、208～212</p> |
| <p>【情報処理教育】全学情報処理教育カリキュラム（MM 館全学共用コンピュータ実習室開講分）受講者数は、前期 6,782 名。後期 6,824 名、特別学期 795 名、合計 1,4401 名</p> |
| <p>【自主学習状況】82,370 名（注）数字は延べ人数</p> |
| <p>【プリンタ利用状況】実習用共用プリンタ利用合計（745,919）、大型カラープリンタ（14 件）</p> |
| <p>【学生貸与パソコン】2002 年度は共通教育科目「ネットワーク利用演習Ⅲ」の受講学生および「卒業研究」などゼミへの貸し出しを行った。貸出台数は 250 台</p> |
| <p>【外部委託の実施】2002 年度は前年度に引続き 1 年次開講科目を全学的な取組とする（一部学科を除く）と共に、共通教育科目の開講科目を増やした。2002 年度合計：112 コマ、受講者数 5,720 名 委託業者：株式会社 富士通ラーニングメディア</p> |
| <p>実施状況：前期「情報処理入門Ⅰ」「Access データベース基礎」「Excel 発展的な機能の活用」「Word 発展的な機能の活用」「情報活用の基礎」「情報活用の応用Ⅱ」「情報機器の操作Ⅰ」「情報活用基礎演習」「コンピュータ基礎」「基礎薬学情報学Ⅰ」計 3,291 名</p> |
| <p>実施状況：後期「情報処理入門Ⅰ」「Access データベース基礎」「Excel 発展的な機能の活用」「Word 発展的な機能の活用」「情報活用の応用」「情報活用の応用Ⅰ」「情報活用の応用Ⅲ」「情報機器の操作Ⅱ」「基礎薬学情報学Ⅱ」計 2,429 名。</p> |
| <p>【マルチメディア環境整備】2002 年度は、①日下記念マルチメディア館マルチメディア環境装置、②公江記念講堂からの映像配信、③マルチメディア教室環境維持、④マルチメディア教室の利用説明会および利用ガイドブックの発行を行った</p> |
| <p>【発行物】情報教育研究センターニュース第 7-1 号（7 月発行）、情報教育研究センターニュース第 7-2 号（12 月発行）、情報教育研究センターニュース第 7-3 号（3 月発行）、情報教育研究センター年報（2 月発行）、情報教育センターリーフレット（2 月発行）、情報教育研究センター利用ガイドブック（2 月発行）、日下記念マルチメディア館コンピュータ実習室マルチメディア卓利用ガイドブック（2 月発行）、日下記念マルチメディア館遠隔授業システム利用ガイドブック（2 月発行）、日下記念マルチメディア館メディアホール利用ガイドブック（2 月発行）</p> |
| <p>【学術講演会】参加者：教職員 70 名 日 時：2003 年 2 月 28 日（金） 場 所：日下記念マルチメディア館メディアホール テーマ：IT の活用が大学教育を変えられるか ―今、大学教育がおかれている状況― 講 師：小野 博 氏 文部科学省メディア教育開発センター メディア環境開発研究部門教授</p> |

| |
|--|
| 【教材の電子化に関する懇話会】第1回 MM-108（2002年7月26日）参加者24名、第2回 MM-108（2002年11月6日）参加者20名、第3回 MM-108（2003年3月11日）参加者16名 |
| 【教員対象パソコン講座】〔集合講座〕として、Excel 応用、Access 基礎、Access 応用、ネットワーク利用基礎、PowerPoint 基礎、PowerPoint 応用、HTML によるホームページ作成、FrontPage によるホームページ作成を富士通オフィス機器株式会社の講師が指導。教室 MM-408。また、[e ラーニング] として、Word 応用、Excel 応用、Access 基礎、Access 応用を富士通オフィス機器「interiedge ASP サービス」を使用して実施した。〔集合講座〕受講者数 65 名、[e ラーニング] 受講者数 28 名 |
| 【利用ガイダンス・説明会】メディアホール利用説明会（6月3日、7月11日）、短期留学生センター利用ガイダンス（6月17日）、業務による電子メール利用説明会（7月10日） |
| 【施設見学】西脇高校、西宮市議会議員、有馬高校、観音寺第一高校教員、大阪府教育委員会、津名高校、扇町総合高校、土佐女子高校教員、明石南高校教員、流通科学大学、仁愛女子高校教員、箕面高校、附属中高校入試説明会、神戸甲北高校、小杉高校、地域別教育懇談会、和歌山北高校保護者、鳴尾金曜会、長野南高校、阪南高校、今宮高校、安田女子大学、篠山鳳鳴高校 PTA、鳴尾地区青少年愛護協議会、神戸女学院大学、津田高校教員、テキサス女子大学、阪南大学、大手前高校、松下電器株式会社、三田尻女子大学、新宮高校教員 |
| 【施設利用】CET2002、教育システム情報学会学生によるコンピュータ利用研究発表会、音楽療法学会 |
| 【学院キャンパスネットワーク運営委員会】委員長：濱谷英次 委員：中野彰、中植雅彦、牛田智、福井哲夫、高橋幸一、小野賢太郎、清水恵子、坂本正孝、原橋茂、大西信義、松本全弘、森本恵三、上元晋也 |

〔2003 年度（平成 15 年度）〕

| 内容 |
|---|
| 【運営方針・重点目標】社会の高度情報化に対応した情報環境の実現と教育の情報化に関する支援環境を整備する。特に、2002 年度に導入された各種システムの円滑な運用を実現するために新たに生じた業務を踏まえつつ、インフラのより一層の活用を図るため既存業務との調整を行う。また、教育職、事務職との連携の在り方についてもさらに検討を加え、将来に向けた体制作りを引き続き取り組む |
| 【組織】〔総括〕センター長：濱谷英次 事務長：上元晋也 教員関係〔常任委員／研究員〕宮本紘平、中野彰、小野賢太郎、福井哲夫 〔研究員〕中植雅彦、保井俊英 〔専任助手〕岡田由紀子 事務関係 谷澤陽子、田中邦子、小林佳子、馬殿ひとみ、松本芳江、*田坂雅美（臨時職員） 非常勤助手・副手：三島幸子、河村さつき、馬壁美奈／上村和代、富田裕子、富永安美、藤井泉、橋本葉子、村上知香 |
| 【情報処理教育委員会】委員：中野彰（日文）、笹部徹（英文）、萬代悟（教育）、徳家雅子（健康）、井上雅勝（人間）、西田徹（環境）、松浦寿喜（食物）、伊佐治せつ子（情報）、奈良田朋子（音楽）、内田享弘（薬学） |
| 【ネットワークの整備】外部接続線の追加導入および増速（5月）、回線負荷分散装置導入（5月）、プロキシサーバ入れ替え（8月）、ネットワーク基幹機器類の移設（8月）、イントラネット共用 WWW サーバの導入（9月）、共用ファイルサーバのウイルスチェックシステムを導入した（2004年3月） |
| 【情報セキュリティ】コンピュータウイルス「Blaster」感染によるネットワークトラブル（10月中旬～11月下旬）があり、センターではトラブルを繰り返さないためセキュリティ対策説明会を4回開催した。2004年1月下旬ウイルス「SQLP1434.A」感染による障害が発生し通信に影響が出た |
| 【ID 発行状況】MWU-net 総合計 10,162、MIET 総合計 10,285 |
| 【IP 発行状況】グローバル IP 発行状況は、研究室、サーバ、ネットワーク基幹機器等、その他、合計 405。ローカル IP での接続状況は、中央図書館、文学1号館、文学2号館、東館、南館、生活環境1号館・別館、生活環境2号館、マルチメディア館、第1体育館、公江記念館、浜甲子園キャンパス |
| 【ネットワーク利用講習会・センター利用説明会】〔学生対象〕利用者 ID 新規申請者、パスワード再設定申請者は必ず「ネットワーク利用講習会」を受講する。また、初めてセンター（MM 館 2 階・3 階・4 階・808・812）を利用する方対象に、「センター利用説明会」を同時開催した |

| |
|--|
| <p>【同上】〔教職員対象〕教職員対象のネットワーク利用講習会をネットワーク利用講習会と別に開催した。対象者は学生と同様、利用者 ID 新規申請者、パスワード再設定申請者とした。受講者合計は、「ネットワーク利用講習会」3,870 名（教職員含む）、「センター利用説明会」3,084 名</p> |
| <p>【ホームページ】以前よりセンターでは、学外向けにホームページを発信していたが、2003 年 1 月より学内向けホームページの発信を開始し、3 月より学外向けホームページをリニューアルした</p> |
| <p>【情報処理教育】全学情報処理教育カリキュラム（MM 館全学共用コンピュータ実習室開講分）受講者数は、前期 7,092 名。後期 6,784 名、特別学期 776 名、合計 14,652 名</p> |
| <p>【自主学习状況】153,582 名（注）数字は延べ人数</p> |
| <p>【プリンタ利用状況】実習用共用プリンタ利用合計（1,340,101）、大型カラープリンタ（56 件）</p> |
| <p>【外部委託の実施】2003 年度は前年度に引続き 1 年次開講科目を全学的な取り組みとする（一部学科を除く）と共に、共通教育科目の開講科目を増やした。2003 年度合計：112 コマ、受講者数 5,867 名 ※委託業者：株式会社 富士通ラーニングメディア</p> |
| <p>【教育支援パソコン】学内マルチメディア関連装置の活用並びにマルチメディア教材作成を支援するため、昨年 10 月より開始したノート型パソコンの貸し出しを 2003 年度も引き続き行った。台数 15 台</p> |
| <p>【マルチメディア環境整備】①日下記念マルチメディア館 1F メディアホール DLP マルチビジョンシステム機能追加、②マルチメディア装置環境維持、③マルチメディア装置利用説明会（4 月 10 日実施）</p> |
| <p>【教員対象パソコン講座】2004 年 2 月に、[OA ソフト関連]として、Excel 応用、FrontPage によるホームページ作成、PowerPoint 基礎、PowerPoint 応用を富士通オフィス機器株式会社の講師が MM-408 で指導。同じく 2 月に、[統計ソフト関連 (SPSS)]として、基本操作・基礎統計、因子分解、分散分析をエス・ピー・エス・エス株式会社の講師が MM-408 で指導。[OA ソフト関連]の受講者数 30 名、[統計ソフト関連 (SPSS)]の受講者数 52 名</p> |
| <p>【学術講演会】日時：12 月 19 日 参加者：75 名 場所：日下記念マルチメディア館メディアホール テーマ：大学における情報セキュリティの考え方～教員・事務職員それぞれの立場から～ 講師：後藤 邦夫 氏（南山大学 数理情報学部情報通信学科教授） 大宮 則彦 氏（南山大学 総務部情報システム課長）</p> |
| <p>【教材の電子化に関する懇話会】日時：7 月 22 日 MM-108 参加者 23 名 資料希望者 6 名 教員の教育活動に伴う「教材の電子化」への取り組みをセンターが支援するため、教員から意見、疑問、要望などを聞いた。e ラーニングによる英語学習の取り組み、「西洋服飾史」講座の教材電子化等</p> |
| <p>【発行物】情報教育研究センター利用ガイドブック増刷（4 月発行）、安全なネットワーク利用のために（4 月発行）、情報教育研究センターリーフレット増刷（7 月発行）、情報教育研究センターニュース第 8-1 号（7 月発行）、情報教育研究センターニュース第 8-2 号（11 月発行）、情報教育研究センターニュース第 8-3 号（2004 年 3 月発行）、マルチメディア教室の利用の手引き増刷（8 月発行）、情報教育研究センター利用ガイドブック改訂版（11 月発行）、情報教育研究センター年報 2002（12 月発行）</p> |
| <p>【その他】鳴尾中学「トライやるウィーク」活動受入（6 月 3 日）、短期留学生センター利用ガイダンス（6 月 16 日）外部接続線 KM 館から MM 館へ移設（8 月 30 日）</p> |
| <p>【施設見学】関西学院大学、富士ゼロックス、西宮市・神戸市内高校教諭、神出学園、有馬高校、鳴松会、加古川南高校 PTA、徳島県立池田高校、岡山就実高校、阪南高校 PTA、大阪高校数学研究会、入試説明会参加者、播磨南高校 PTA、箕面高校、附属中学校入試説明会、関西私立女子大学見学会、イースタンワシントン大学、神戸学院大学、地域別教育懇談会、氷上西高校、京都女子大学、尼崎北高校、香寺高校、阪南高校、武庫之荘総合高校、国文学会講演会講師、岐阜大学、神戸松陰女子短大、志知高校、福知山高校、新見高校、岡山県立勝山高校教諭、同志社女子大学、オープンキャンパス（9・3 月）</p> |
| <p>【施設利用】NPO 生涯学習＝大学人会議第 37 回セミナー、メディア教育開発センター平成 15 年度研修講座、文部科学省（視察）、兵庫県栄養士会研究教育栄養士研修会</p> |
| <p>【学院キャンパスネットワーク運営委員会】委員長：濱谷英次 委員：中野彰、中植雅彦、牛田智、福井哲夫、高橋幸一、小野賢太郎、神吉正雄、坂本正孝、原橋茂、大西信義、松本全弘、安田衛史、上元晋也</p> |

[2004 年度 (平成 16 年度)]

| 内容 |
|--|
| <p>【運営方針・重点目標】社会の高度情報化に対応した情報環境の実現と教育の情報化に関する支援環境を整備する。特に、2004 年度は MUSES との取り組みを連携しつつ、2002 年度に導入された各種システムの円滑な運用を実現するために新たに生じた業務を踏まえつつ、インフラのより一層の活用を図るため、既存業務との調整を行う</p> |
| <p>【組織】・[総括] センター長／研究員：濱谷英次 課長：上元晋也 ・教員関係 [常任委員／研究員] 宮本紘平、中野彰、小野賢太郎、福井哲夫 [専任助手] 岡田由紀子 ・非常勤助手・副手：三島幸子、河村さつき、富田裕子、富永安美、橋本葉子、村上知香、上村和代、裏山真弓 ・事務関係 [情報教育支援課] 谷澤陽子、跡部誠、田中邦子、小林佳子、馬殿ひとみ、松本芳江、田坂雅美 (臨時職員)</p> |
| <p>【情報処理教育委員会】委員：中野彰 (日文)、笹部徹 (英文)、萬代悟 (教育)、徳家雅子 (健康)、井上雅勝 (人間)、西田徹 (環境)、石崎由美子 (食物)、伊佐治せつ子 (情報)、奈良田朋子 (音楽)、松野純男 (薬学)</p> |
| <p>【ネットワークの整備】新館へのネットワーク延長、基幹部分の高速化、既存機器および支線ネットワークの強化、ネットワーク監視機能の強化、メールサーバ増強、侵入検知システム導入</p> |
| <p>【情報セキュリティ】コンピュータウイルス：4月に「警戒レベル2」が発令された他、2件のウイルス感染報告があった。①4月28日「WORM_BAGLE.X」感染。②感染報告6月21日「TROJ_AGENT.NL」、2005年2月10日「RED_LOF.A」感染。学内アナウンスを行い対応した</p> |
| <p>【同上】不正アクセス：不正アタックによる障害が5件発生した。サーバに対して最新のセキュリティパッチを適応すると共に、F/Wの学外側に設置していたWWWサーバ、PPP認証サーバをF/Wの学内側に移動させる等、セキュリティの確保を行った</p> |
| <p>【同上】スパイウェア：悪意のあるスパイウェアが増えてきている状況をふまえ、7月スパイウェアについて学内アナウンスし、注意を促した</p> |
| <p>【同上】無線LAN：10月、危険性について学内アナウンスと利用状況調査を行った。調査結果を受けて、利用者にセキュリティ対策報告書の提出を求めると共に、利用ガイドライン作成準備を進めた</p> |
| <p>【ID発行状況】MWU-net 総合計 10,449、MIET 総合計 10,560</p> |
| <p>【IP発行状況】グローバルIP発行状況は、研究室、サーバ、ネットワーク中継機器、ネットワーク基幹機器、その他、合計 397。ローカルIPでの接続状況は、中央図書館、文学1号館、文学2号館、東館、南館、日下記念マルチメディア館、第1体育館、生活環境1号館・別館、生活環境2号館、公江記念館、健康科学館、浜甲子園キャンパス</p> |
| <p>【ネットワーク利用講習会・センター利用説明会】[学生対象] 利用者ID新規申請者、パスワード再設定申請者は「ネットワーク利用講習会」の受講を必須とした。また、初めてセンター (MM館2階・3階・4階・808・812) を利用する方対象に、「センター利用説明会」を同時開催した</p> |
| <p>【同上】[教職員対象] 学生同様、利用者ID新規申請者、パスワード再設定申請者は「ネットワーク利用講習会」の受講を必須とした。受講者合計は、「ネットワーク利用講習会」3,869名 (教職員含む)、「センター利用説明会」2,979名</p> |
| <p>【ホームページ】2004年度は、大きな構成変更は行わず、主に次の内容を日々更新した。学内向け：「利用案内」。学外向け：「センターからのお知らせ」「講習会スケジュール」</p> |
| <p>【情報処理教育】全学情報処理教育カリキュラム (MM館全学共用コンピュータ実習室開講分) 受講者数は、前期 8,013名。後期 8,230名、特別学期 1,265名、合計 1,7508名</p> |
| <p>【全学情報処理教育施設】MM-201 (オープンフロア)、MM-109、MM-110、MM-203、MM-204、MM-205、MM-208、MM-209、MM-210、MM-211、MM-212、MM-212・準備室、KM中央コンピュータ室、KM中央コンピュータ室・準備室、MM館3・4・8Fコンピュータ実習室 (301、302、303、304、305、306、307、401、402、403、406、407、408、808、812)</p> |
| <p>【自主学习状況】175,035名 (注) 数字は延べ人数</p> |

| |
|--|
| 【プリンタ利用状況】 実習用共用プリンタ利用合計 (1,476,822)、大型カラープリンタ (60 件) |
| 【外部委託の実施】 2000 年度より導入した情報基礎教育科目の外部委託は次の通り実施した。2004 年度合計：118 コマ、5,919 名。委託業者：株式会社 富士通ラーニングメディア |
| 【教育支援パソコン】 2002 年度より運用を開始した教育支援パソコンの貸し出しを今年度も継続して行った。今年度は利用者からの要望にこたえ、新たに WindowsXP 6 台を加え、合計 21 台で運用した |
| 【マルチメディア環境整備】 ①マルチメディア館 1F メディアホール収納カメラ (近距離用) 移設、②マルチメディア装置環境維持 (定期的保守点検・簡易修理)、③マルチメディア装置利用説明会 (4 月) |
| 【学術講演会】 参加者：教職員 58 名 日 時：2004 年 6 月 2 日 (水) 場 所：日下記念マルチメディア館メディアホール テーマ：学習支援システムの実践報告とデモンストレーション 講 演：学習支援システムを活用した教育実践 講 師：広島大学大学院 社会科学研究科 安武公一 氏 講演後、情報教育研究センター職員が学習支援システムのデモンストレーションを行った |
| 【電子教材開発】 [Mmoa] (モア) 2002 年度より開発に取り組んできた電子教材開発ツール「Mmoa」の第 1 次開発分が完成し、学内広報および利用講習会を開催した |
| 【同上】 2004 年のシステム開発には、文部科学省大学教育高度化推進特別補助「高等教育研究改革推進」経費に課題名「支援環境整備を踏まえた授業活性化手法の開発」の一部として私学助成を受けた |
| 【同上】 学内利用講習会は 12 月に開催。参加申込者は 43 名。うち、24 名に「Mmoa」ツール CD の貸し出しを行った。後期よりテスト運用を実施。11 月の利用説明会に 83 名が出席した |
| 【電子教材開発】 [学習支援システム (μCam : ミューキャン)] は、文部科学省大学教育高度化推進特別補助「高等教育研究改革推進」経費に課題名「支援環境整備を踏まえた授業活性化手法の開発」の一部として私学助成を受けてシステムを導入した |
| 【同上】 後期よりテスト運営を行った。11 月 2、16、19、25 日に利用説明会を実施。83 名が出席した。学内一般利用をはじめた特別学期 1 月 21 日、2 月 8 日、3 月 3 日には、μCam を利用した教材準備のために、実際に操作をする講習会ならびに個別利用相談を実施した。(「教材に役立つパソコン講座」の一部として開催) |
| 【教員対象パソコン講座】 [前期] SPSS の①基本操作・基礎統計、②分散分析、③因子分解、[後期] ④因子分析をエス・ピー・エス・エス株式会社の講師が MM 館 4F で指導。[後期] ④PowerPoint 基礎、⑤Excel2002 応用を富士通オフィス機器株式会社の講師が MM-408 で指導。⑦⑧⑨ μCam 利用講習会を CSK 株式会社の講師が MM 館 3F で指導。受講者数の合計は 107 名 |
| 【発行物】 情報教育研究センター利用ガイドブック 2004 (4 月発行)、情報教育研究センターニュース第 9-1 号 (6 月発行)、情報教育研究センターニュース第 9-2 号 (9 月発行)、情報教育研究センターニュース第 9-3 号 (12 月発行)、情報教育研究センターニュース第 9-4 号 (2005 年 3 月発行)、情報教育研究センター年報 2003 (12 月発行) |
| 【施設見学】 東灘高校、明石南高校、西脇高校、有馬高校、国際交流室、セントマーチンズ大学、倉吉西高校教諭、札幌大学、尼崎小田高校、大阪市立淀商業高校、阪南高校、中高大施設見学会、MFWI、明石北高校、関西私立女子大学研修会、地域別教育懇談会、甲西高校 PTA、尼崎北高校、吉利大学、神出学園、大阪府立金岡高校、オープンキャンパス (7・8・12 月) |
| 【施設利用】 私情協「教育の情報化フォーラム」、知的障害のある方の夏季大学、知的障害のある方のオープンキャンパス |
| 【学院キャンパスネットワーク運営委員会】 委員長：濱谷英次 委員：中野彰、坂井和明、牛田智、福井哲夫、松野純男、小野賢太郎、高橋幸一、神吉正雄、坂本正孝、瀧居豊、上元晋也、原橋茂、大西信義、松本全弘、井上悟、森本恵三 |

〔2005 年度 (平成 17 年度)〕

| 内容 |
|---|
| 【運営方針・重点目標】 社会の高度情報化に対応した情報環境の実現と教育の情報化に関する支援環境を整備する。 |

| |
|---|
| <p>【組織】〔総括〕センター長：濱谷英次 課長：上元晋也 教員関係〔常任委員／研究員〕中野彰、小野賢太郎、福井哲夫、松浦寿喜 〔専任助手〕岡田由紀子 非常勤助手・副手：三島幸子、河村さつき、富田裕子、富永安美、橋本葉子、村上知香、裏山真弓、金澤知子 事務関係（情報教育支援課）谷澤陽子、跡部誠、田中邦子、小林佳子、馬殿ひとみ、松本芳江、田坂雅美（臨時職員）</p> |
| <p>【情報処理教育委員会】委員：塩出雅（日文）、笹部徹（英文）、萬代悟（教育）、徳家雅子（健康）、萱村俊哉（人間）、西田徹（環境）、石崎由美子（食物）、丹田佳子（情報）、奈良田朋子（音楽）、松野純男（薬学）</p> |
| <p>【ネットワークの整備】期間部分の高速化と既存機器および支線ネットワークの強化を行った。なお、整備にあたっては、文部科学省私学助成「情報通信装置（学内 LAN 装置）」の補助を一部受けて行った</p> |
| <p>【ネットワークの運用】①4月1日統合認証サーバ本格稼働、②4月30日MIET運用終了、③5月1日メールサーバの増強、④9月8日MUSES学外接続開始、⑤12月ネットワークセキュリティ診断、⑥1月17日F/Wの機器を入れ替え、3月27日DMZ構成変更、2月24日μCam学外接続開始</p> |
| <p>【ID発行状況】MWU-net 総合計 11,267</p> |
| <p>【IP発行状況】①グローバルIP発行状況は、研究室、サーバ、ネットワーク中継機器、ネットワーク基幹機器、その他、合計396。②ローカルIPでの接続状況は、中央図書館、文学1号館、文学2号館、東館、南館、日下記念マルチメディア館、生活環境1号館・別館、生活環境2号館、公江記念館、健康科学館、浜甲子園キャンパス、上甲子園キャンパス</p> |
| <p>【ネットワーク利用講習会・センター利用説明会】〔学生対象〕利用者ID新規申請者、パスワード再設定申請者は「ネットワーク利用講習会」の受講を必須とした。また、初めてセンター（MM館2・3・4階・808・812）を利用する方対象に、「センター利用説明会」を同時開催した</p> |
| <p>【同上】〔教職員対象〕学生同様、利用者ID新規申請者、パスワード再設定申請者は「ネットワーク利用講習会」の受講を必須とした。受講者合計は、「ネットワーク利用講習会」3,520名（教職員含む）、「センター利用説明会」2,856名</p> |
| <p>【ホームページ】2005年4月末、MIETの運用終了に伴いMIETへのリンクを削除した。その他は、大きな構成変更は行わず、主に次の内容を日々更新した。学内向け：「利用案内」。学外向け：「センターからのお知らせ」「講習会スケジュール」</p> |
| <p>【情報処理教育】全学情報処理教育カリキュラム（MM館全学共用コンピュータ実習室開講分）受講者数は、前期7,713名。後期6,057名、特別学期1,045名、合計14,815名</p> |
| <p>【全学情報処理教育施設】MM-201（オープンフロア）、MM-109、MM-110、MM-203、MM-204、MM-205、MM-208、MM-209、MM-210、MM-211、MM-212、MM-212・準備室、KM中央コンピュータ室、KM中央コンピュータ室・準備室、MM館3・4・8Fコンピュータ実習室（301、302、303、304、305、306、307、401、402、403、406、407、408、808、812）</p> |
| <p>【自主学習状況】218,345名（注）数字は延べ人数</p> |
| <p>【プリンタ利用状況】実習用共用プリンタ利用合計（1,586,029）、大型カラープリンタ（90件）</p> |
| <p>【外部委託の実施】2000年度より導入した情報基礎教育科目の外部委託は次の通り実施した。2005年度合計：114コマ、5,451名。委託業者：株式会社 富士通ラーニングメディア</p> |
| <p>【教育支援パソコン】2002年10月より運用を開始した教育支援パソコンの貸し出しを今年度も継続して行った。Windows2000（15台）、WindowsXP（6台）、合計21台で運用した</p> |
| <p>【マルチメディア環境整備】①マルチメディア教室の機器更新、②日下記念マルチメディア館コンピュータ実習室プラズマディスプレイ追加、③マルチメディア装置環境維持、④マルチメディア装置利用説明会（4月にS-21・22とMM-407で実施）</p> |
| <p>【学術講演会】参加者：教職員74名 日時：2006年1月20日（金） 場所：日下記念マルチメディア館メディアホール テーマ：教材と著作権 講師：東京理科大学情報メディアセンター教授 鈴木雄一 氏</p> |

| |
|---|
| 【電子教材開発】①教材作成に役立つ講習会を前期（7月）と後期（2月）に実施した。講習会は、 μ Cam コース、Mmoa コース、iMovie コースを用意した。参加者合計 67 名 |
| 【電子教材開発】②学習支援システム（ μ Cam）の利用に関する懇話会を 11 月 18 日に HM-108 で開催し、既に授業で利用されている先生方から「使ってみた感想」などをお話しいただいた。教職員他 25 名参加 |
| 【発行物】情報教育研究センター利用ガイドブック 2005（4 月発行）、 μ Cam 利用ガイドブック（4 月発行）、情報教育研究センターニュース第 10-1 号（6 月発行）、情報教育研究センターニュース第 10-2 号（10 月発行）、情報教育研究センターニュース第 10-3 号（12 月発行）、情報教育研究センターニュース第 10-4 号（3 月発行）、武庫川女子大学情報教育研究センター年報 2004（12 月発行） |
| 鳴尾中学「トライあるウィーク」活動受入（6 月 6 日） |
| 【施設見学】有馬高校、宣真高校、園田女子大学、鶴見商高校、中高大施設見学会、地域別教育懇談会、私学共済・振興事業団、MFWI ホストファミリー、尼崎北高校、伊丹北高校・山田高校、河南高校、大阪府立金岡高校、オープンキャンパス（7・9・12 月） |
| 【学院キャンパスネットワーク運営委員会】委員長：濱谷英次 委員：中野彰、小野賢太郎、牛田智、松浦寿喜、福井哲夫、松浦純男、高橋幸一、神吉正雄、坂本正孝、上元晋也、私市佐代美、上畑康秀、松本全弘、井上悟、森本恵三 |

〔2006 年度（平成 18 年度）〕「ワнтаイムパスワード」開始

| 内容 |
|--|
| 【運営方針・重点目標】社会の高度情報化に対応した情報環境の実現と教育の情報化に関する支援環境を整備する |
| 【組織】総括：[センター長] 濱谷英次 [課長] 上元晋也 教員関係：[常任委員／研究員] 小野賢太郎、三井正也、福井哲夫、松浦寿喜 [研究員] 中野彰 [専任助手] 岡田由紀子 非常勤助手・副手：三島幸子、河村さつき、富田裕子、富永安美、橋本葉子、村上知香、裏山真弓、金澤知子 事務関係：谷澤陽子、跡部誠、松本純、馬殿ひとみ、松本芳江、田坂雅美（臨時職員） |
| 【情報処理教育委員会】塩出雅（日文）、笹部徹（英文）、大貝茂（教育）、徳家雅子（健康）、小花和 W.尚子（心福）、佐々尚美（環境）、高岸和子（食物）、丹田佳子（情報）、萬田隆（建築）、一之瀬智子（音楽）、松野純男（薬学） |
| 【ネットワークの整備】2006 年度学内 LAN 増強として①高速化未対応の基幹部分の増速、②既存機器および支線ネットワークの強化、③コンピュータ実習室のネットワークの強化を行った |
| 【ネットワークの運用】①メールアドレスの表記変更・メールサーバ名変更、②MWU-net パスワード再設定処理の運用改善、③ワнтаイムパスワード導入、④迷惑メール対策機能（Web Mail 用）導入 |
| 【ID 発行状況】MWU-net 総合計 10,663 |
| 【IP 発行状況】①グローバル IP 発行状況は、研究室、サーバ、ネットワーク中継機器、ネットワーク基幹機器、その他、合計 410。②ローカル IP での接続状況は、中央図書館、文学 1 号館、文学 2 号館、東館、南館、日下記念マルチメディア館、生活環境 1 号館・別館、生活環境 2 号館、公江記念館、健康科学館、浜甲子園キャンパス、* 上甲子園キャンパス（※各部署は 2007 年グローバル IP へ変更） |
| 【ネットワーク利用講習会・センター利用説明会】[学生対象] 利用者 ID 新規申請者、パスワード再設定申請者は「ネットワーク利用講習会」の受講を必須。合計 2,957 名。また、初めてセンター（MM 館 2・3・4 階）を利用する方対象に、「センター利用説明会」を同時開催。2006 年度より、パスワード再設定申請者は、 μ Cam を利用したオンライン講習・テストの受講に変更。受講対象者は 377 名 |
| 【同上】[教職員対象] 学生同様、利用者 ID 新規申請者は、「ネットワーク利用講習会」の受講を必須とした。合計 224 名。2006 年度より、パスワード再設定申請者は、 μ Cam を利用したオンライン講習・テストの受講に変更。受講対象者は 42 名 |
| 【ホームページ】2006 年 2 月 21 日、ホームページのデザイン変更を行った。トップページに「MWU-net 運用状況・停止スケジュール」「情報教育研究センターオープン時間の変更」の項目を設けた |
| 【情報処理教育】MM 館全学教育用コンピュータシステムの更新。VID（Virtual Image Distributor）方式（個々のパソコンに必要に応じてサーバからアプリケーション等を供給する仕組み）導入 |

| |
|--|
| 【情報処理教育】全学情報処理教育カリキュラム（MM館全学共用コンピュータ実習室開講分）受講者数は、2006年度合計13,736名 |
| 【全学情報処理教育施設】MM-201（オープンフロア）、MM-109、MM-110、MM-204、MM-205、MM-208、MM-209、MM-210、MM-211、MM-212・準備室、MM-212、MM館3・4Fコンピュータ実習室（301、302、303、304、305、306、307、401、402、403、406、407、408） |
| 【自主学習状況】278,093名（注）数字は延べ人数 |
| 【プリンタ利用状況】実習用共用プリンタ利用合計（887,595）、大型カラープリンタ（101件） |
| 【外部委託の実施】2000年度より導入した情報基礎教育科目の外部委託は次の通り実施した。2006年度合計：107コマ、受講者数4,874名。委託業者：株式会社 富士通ラーニングメディア |
| 【教育支援パソコン】2002年10月より運用を開始した教育支援パソコンの貸し出しを今年度も継続して行った。Dynabook-satellite J32（6台）、Dynabook-satellite J50（18台）、合計24台で運用した |
| 【プリント管理システムの機能追加】プリントアウトの消耗品使用量の増加を受けて、10月より上限値以上プリントする場合は有料化となった。このためプリント管理システムの機能追加を行った。一人当たりの上限値は年間5000ポイント、モノクロ1枚10ポイント、カラー1枚30ポイントとした |
| 【マルチメディア環境整備】①マルチメディア教室の機器更新、②マルチメディア館2・3・4Fマルチメディア操作卓講義映像収集システム追加、③マルチメディア館1Fメディアホールインフォメーションシステム追加、④マルチメディア装置環境維持、⑤マルチメディア装置利用説明会（4月3、6日実施） |
| 【学術講演会】参加者：教職員28名 日時：2006年12月15日（金） 場所：日下記念マルチメディア館MM-407 テーマ：インターネットトラブルの最近事情 講師：NPO日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)講師 渡部 章 氏 |
| 【ミニ講座】新たな取組として、教職員対象にインターネットやパソコンを使う上での疑問や便利なソフトについてミニ講座を開催（11月15・22・29日、12月6・20日、2月21・28日）参加者：42名 |
| 【電子教材開発】①前期（6月）にμCamアラカルト講座（4日間）とMmoa講座（2日間）、後期（12～2月）にμCamアラカルト講座（4日間）とMmoa講座（2日間）を実施した。参加者39名 |
| 【発行物】情報教育研究センター利用ガイドブック2006（4月発行）、情報教育研究センターニュース第11-1号（6月発行）、情報教育研究センターニュース第11-2号（10月発行）、情報教育研究センターニュース第11-3号（12月発行）、情報教育研究センターニュース第11-4号（2月発行）、武庫川女子大学情報教育研究センター年報2005（12月発行） |
| 【施設見学】セントマーチンズ大学、有馬高校、桜宮高校、中高大施設見学会、キャンパスカードセミナー、白百合女子大学、地域別教育懇談会、河南高校、北松西高校、大阪府立金岡高校、オープンキャンパス（7・8・12月） |
| 【その他】鳴尾中学「トライあるウィーク」活動受入（5月23日） |
| 【学院キャンパスネットワーク運営委員会】委員長：濱谷英次（共通） 委員：中野彰（日文）、小野賢太郎（教育）、三井正也（健康）、松浦寿喜（食物）、福井哲夫（情報）、松野純男（薬学）、高橋幸一（教務部）、神吉正雄→日野康平（附属中高）、坂本正孝（附属中高）、吉川一（情報システム室）、上元晋也（情報システム室）、福田徹（広報室）、松本全弘（教務部）、井上悟（学生部）、森本恵三（図書課） |

〔2007年度（平成19年度）〕

| 内容 |
|---|
| 【運営方針・重点目標】社会の高度情報化に対応した情報環境の実現と教育の情報化に関する支援環境を整備する。 |
| 【組織】総括：〔センター長〕濱谷英次 〔課長〕上元晋也 教員関係：〔常任委員／研究員〕小野賢太郎、福井哲夫、松浦寿喜、三井正也 〔研究員〕中野彰 〔専任助手〕岡田由紀子 非常勤助手・副手：三島幸子、河村さつき、富田裕子、富永安美、橋本葉子、村上知香、金澤知子、大串志乃美 事務関係：跡部誠、松本純、天満戸敦子、田中邦子、馬殿ひとみ、松本芳江、田坂雅美（臨時職員） |

| |
|--|
| <p>【情報処理教育委員会】委員：塩出雅（日文）、笹部徹（英文）、大貝茂（教育）、保井俊英（健康）、小花和 W. 尚子（心福）、佐々尚美（環境）、高岸和子（食物）、中川佳子（情報）、萬田隆（建築）、一之瀬智子（音楽）、松野純男（薬学）</p> |
| <p>【ネットワークの整備】①新館へのネットワーク延長、②既存機器および支線ネットワークの強化、③インターネット外部接続回線の増速を行った（8月）</p> |
| <p>【ネットワークの運用】①全学共用ファイルサーバーの増強（後期）、②基幹サーバ群の一部更新（8月）、③学外からパソコン利用予約開始、④迷惑メール検知システム本稼働（2008年2月25日）</p> |
| <p>【ID発行状況】MWU-net 総合計 10,924</p> |
| <p>【IP発行状況】①グローバルIP発行状況は、研究室、サーバ、ネットワーク中継機器、ネットワーク基幹機器、その他、合計444。②ローカルIPでの接続状況は、中央図書館、文学1号館、文学2号館、東館、南館、日下記念マルチメディア館、第1体育館、第2体育館、第1体育館アネックス、生活環境1号館・別館、生活環境2号館、健康科学館、公江記念館、浜甲子園キャンパス、上甲子園キャンパス</p> |
| <p>【ネットワーク利用講習会・センター利用説明会】〔学生対象〕利用者ID新規申請者は、「ネットワーク利用講習会」の受講必須。合計3,104名。また、初めてセンター（MM館2・3・4階）を利用する方対象に、「センター利用説明会」を同時開催。パスワード再設定申請者は、前年に引き続きμCamを利用したオンライン講習・テストの受講必須。受講人数は285名</p> |
| <p>【同上】〔教職員対象〕学生同様、利用者ID新規申請者は、「ネットワーク利用講習会」の受講必須。合計249名。パスワード再設定申請者についても、前年に引き続きμCamを利用したオンライン講習・テストの受講必須。受講対象者は25名</p> |
| <p>【ホームページ】2007年度は大きな変更は行わず、学外向けおよび学内向けホームページについて、「トップページ」「センターからのお知らせ」「センターの利用案内」「講習会スケジュール」を更新した</p> |
| <p>【情報処理教育】情報処理教育関連機器の更新を実施。①MM館3・4階コンピュータ実習室のWindowsデスクトップパソコンの更新、②MM館2階講師控室のWindowsデスクトップパソコンの更新、及びMOドライブの設置、③オープンフロアに設置済みのパソコンに外付けDVDマルチドライブの増設</p> |
| <p>【情報処理教育】全学情報処理教育カリキュラム（MM館全学共用コンピュータ実習室開講分）受講者数は、2007年度合計11,429名</p> |
| <p>【全学情報処理教育施設】MM-201（オープンフロア）、MM-109、MM-110、MM-203、MM-204、MM-205、MM-208、MM-209、MM-210、MM-211、MM-212、MM-212・準備室、MM-212、MM館3・4Fコンピュータ実習室（301、302、303、304、305、306、307、401、402、403、406、407、408）</p> |
| <p>【自主学习状況】286,593名（注）数字は延べ人数</p> |
| <p>【プリンタ利用状況】実習用共用プリンタ利用合計（857,948）、大型カラープリンタ（143件）</p> |
| <p>【外部委託の実施】2000年度より導入した情報基礎教育科目の外部委託は次の通り実施した。2007年度合計：100コマ、4,769名。委託業者：株式会社 富士通ラーニングメディア</p> |
| <p>【教育支援パソコン】2002年より運用を開始した教育支援パソコンの貸し出しを今年度も継続して行った。東芝 Dynabook-Satellite J32（6台）、Dynabook-Satellite J50（18台）、合計24台で運用した</p> |
| <p>【プリントポイントシステム】2007年度も引き続きプリントポイント制度を実施。一人当たりの上限値は年間5000ポイント、モノクロ1枚10ポイント、カラー1枚30ポイントの設定とした</p> |
| <p>【マルチメディア環境整備】①マルチメディア館1・2・3・4・8Fマルチメディア装置運用制御サーバの増強、②マルチメディア館2・3・4・8F教育用コンテンツ開発・利用支援システム運用機能強化、③マルチメディア装置環境維持、④マルチメディア装置利用説明会（4月3・6日実施）①②は文部科学省私学助成〔教育・学習方法等改善支援〕対象</p> |
| <p>【学術講演会】参加者：教職員28名 日 時：2008年2月15日（金） 場 所：日下記念マルチメディア館MM-406・407 テーマ：ケータイ世代と大学教育 講 師：京都大学霊長類研究所教授 正高信男 氏</p> |

| |
|---|
| 【電子教材開発】前期(5・6月)にμCamアラカルト講座(4日間)とMmoa講座(2日間)、後期・特別後期(12~2月)にμCamアラカルト講座(6日間)とMmoa講座(3日間)を実施。参加者51名 |
| 【発行物】情報教育研究センター利用ガイドブック2007(4月発行)、情報教育研究センターニュース第12-1号(6月発行)、情報教育研究センターニュース第12-2号(10月発行)、情報教育研究センターニュース第12-3号(12月発行)、情報教育研究センターニュース第12-4号(3月発行)、武庫川女子大学情報教育研究センター年報2006(12月発行) |
| 【施設見学】初期演習、外国語教育メディア学会、セントマーチンズ大学、大阪府教育委員会、有馬高校、淀商業高校、中高大施設見学会、地域別教育懇談会、東灘高校、西宮市小学校教科等研究会、龍谷大学、金岡高校、オープンキャンパス(7・8・9・12月) |
| 【学院キャンパスネットワーク運営委員会】委員長：濱谷英次(共通) 委員：中野彰(日文)、小野賢太郎(教育)、三井正也(健康)、松浦寿喜(食物)、福井哲夫(情報)、松野純男(薬学)、土井裕司(教務部)、日野康平(附属中高)、坂本正孝(附属中高)、吉川一(情報システム室)、上元晋也(情報システム室)、福田徹(広報室)、松本全弘(教務部)、立花福太郎(学生課)、森本恵三(図書課) |

〔2008年度(平成20年度)〕

| 内容 |
|--|
| 【運営方針・重点目標】社会の高度情報化に対応した情報環境の実現と教育の情報化に関する支援環境を整備する |
| 【組織】総括：[センター長] 濱谷英次 [課長] 上元晋也 教員関係：[常任委員/研究員] 中野彰、三井正也、松浦寿喜、福井哲夫 [研究員] 小野賢太郎 [専任助手] 岡田由紀子 非常勤助手・副手：三島幸子、板上さつき、富永安美、橋本葉子、村上知香、金澤知子、大串志乃美、田坂雅美、浅見裕子/菊本由紀 事務関係：跡部誠、岸田友恵、松本純、天満戸敦子、田中邦子、松本芳江 |
| 【情報処理教育委員会】塩出雅(日文)、笹部徹(英文)、大貝茂(教育)、保井俊英(健康)、小花和 W.尚子(心福)、佐々尚美(環境)、吉田精作(食物)、中川佳子(情報)、萬田隆(建築)、一之瀬智子(音楽)、田中智之(薬学) |
| 【ネットワークの整備】マルチメディア館2・3・4F コンピュータ実習室関係の通信機器およびネットワークの増強を行った |
| 【ネットワークの運用】①統合認証システム強化(7月)、②生活環境2号館(8月、火災が発生し、9月全体が復旧した)、③基幹サーバ群の一部更新(9月)、④メールシステムの改善(1月)、⑤オンラインサービスの追加(1月)、⑥シングルサインオン稼働開始(2月)、⑦学習支援システムμCam更新(全学的なeラーニングに対応するため) |
| 【同上】⑧サービス運用終了。7月 MWU-net への電話回線接続(PPP接続)サービスの運用を終了した。同じく7月、旧リモートログインサーバの運用を終了し、リモートアクセスは昨年度導入のSSL-VPN経由のみとなった。また9月に旧タイムサーバ(tms.iecr.mukogawa-u.ac.jp)の併行運用終了 |
| 【ID発行状況】MWU-net 総合計 11,245 |
| 【IP発行状況】①グローバルIP発行状況は、研究室、サーバ、ネットワーク中継機器、ネットワーク基幹機器、その他、合計424。②ローカルIPでの接続状況は、中央図書館、文学1号館、文学2号館、東館、南館、日下記念マルチメディア館、第1体育館、第2体育館、第1体育館アネックス、生活環境1号館・別館、生活環境2号館、健康科学館、公江記念館、浜甲子園キャンパス、上甲子園キャンパス |
| 【ネットワーク利用講習会・センター利用説明会】[学生対象] 利用者ID新規申請者は、「ネットワーク利用講習会」の受講必須。合計3,229名。また、初めてセンター(MM館2・3・4階)を利用する方対象に、「センター利用説明会」を同時開催。パスワード再設定申請者は、前年に引き続きμCamを利用したオンライン講習・テストの受講必須。受講人数は274名 |
| 【同上】[教職員対象] 学生同様、利用者ID新規申請者は、「ネットワーク利用講習会」の受講必須。合計227名。パスワード再設定申請者についても、前年に引き続きμCamを利用したオンライン講習・テストの受講必須。受講対象者は38名 |

| |
|--|
| 【ホームページ】2008年12月17日、ホームページのデザインおよび掲載内容の変更を行った。学外向けホームページと学内向けホームページで内容が重複しないようにした |
| 【同上】[学外向け] MWU-net、講習会スケジュール、センターオープン時間、[学内向け] センターからのお知らせ、各種発行物、FAQ |
| 【情報処理教育】全学情報処理教育カリキュラム（MM 館全学共用コンピュータ実習室開講分）受講者数は、2008年度合計 13,053 名 |
| 【全学情報処理教育施設】MM-201（オープンフロア）、MM-109、MM-110、MM-203、MM-204、MM-205、MM-208、MM-209、MM-210、MM-211、MM-212、MM-212・準備室、MM-212、MM 館 3・4F コンピュータ実習室（301、302、303、304、305、306、307、401、402、403、406、407、408） |
| 【自主学習状況】263,504 名（注）数字は延べ人数 |
| 【プリンタ利用状況】実習用共用プリンタ利用合計（930,806）、大型カラープリンタ（160 件） |
| 【外部委託の実施】2000 年度より導入した情報基礎教育科目の外部委託は次の通り実施した。2008 年度合計：95 コマ、4,530 名。委託業者：株式会社 富士通ラーニングメディア |
| 【教育支援パソコン】Windows Vista 仕様の普及に伴い、Windows Vista 仕様のパソコンを導入した。東芝 Dynabook-Satellite J50（18 台）、Dynabook-Satellite J70（8 台）、合計 26 台で運用した |
| 【プリントポイントシステム】2008 年度も引き続きプリントポイント制度を実施。一人当たりの上限値は年間 5000 ポイント、モノクロ 1 枚 10 ポイント、カラー 1 枚 30 ポイントの設定とした |
| 【マルチメディア環境整備】①マルチメディア装置環境維持：装置の機能・性能を維持し、教育活動を円滑に進めるために装置の定期的な保守点検を実施し、必要に応じて簡易修理を行った。無停電電源装置のバッテリー交換、プロジェクターマイコンソフトのバージョンアップなど調整・整備を実施 |
| 【同上】年度末に MM-808、MM-812 教室の設備（ネットワーク設備を除く）全てを情報メディア学科に移管した |
| 【マルチメディア装置利用説明会】授業においてマルチメディア装置を利用される教員対象に、教室・実習室に整備されている装置の利用方法に関する説明会を行った（4 月に S 館 2 回、MM 館 2 回） |
| 【学術講演会】参加者：教職員 31 名 日 時：2008 年 12 月 19 日（金） 場 所：日下記念マルチメディア館 MM-306 テーマ：メディアを活かした教育の実践 ―iPad、携帯電話を活用した授業改善 (1) 題 目：iPad を利用した英語教育の実践 講 師：大阪女学院大学 国際・英語学部教授 加藤映子 氏 (2) 題 目：携帯電話とブレンディッド型の e Learning を活用した大学授業改善の取り組み 講 師：滋賀大学 教育学部教授 宮田 仁 氏 |
| 【電子教材開発】前期（6 月）に μ Cam アラカルト講座（3 日間）と Mmoa 講座（1 日）、後期・特別学期（2 月）に μ Cam アラカルト講座（3 日間）と Mmoa 講座（4 日間）を実施。参加者 37 名 |
| 【発行物】情報教育研究センター利用ガイドブック 2008（4 月発行）、情報教育研究センターニュース第 13-1 号（6 月発行）、情報教育研究センターニュース第 13-2 号（11 月発行）、情報教育研究センターニュース第 13-3 号（1 月発行）、情報教育研究センターニュース第 13-4 号（3 月発行）、武庫川女子大学情報教育研究センター年報 2007（12 月発行） |
| 【施設見学】初期演習、綾部高校、セントマーチンズ大学短期留学生、有馬高校、阪南大学高校、短期留学生、神戸甲北高校、21 世紀東アジア青少年大交流計画参加学生、淀高校、21 世紀東アジア青少年大交流計画参加学生、中学・高校・大学施設見学会、地域別教育懇談会参加者、篠山鳳鳴高校保護者、短大基準協会（視察）、尼崎北高校、夢野台高校、伊丹北高校、千里青雲高校、中央教育審議会（視察）、河南高校、文部科学省大学振興課（視察）、金岡高校、高松東高校、オープンキャンパス（7・8・12 月） |
| 【施設利用】教員免許状更新講習（7 月）、教員免許状更新講習（8 月） |
| 【学院キャンパスネットワーク運営委員会】委員長：濱谷英次（共通） 委員：中野彰（日文）、小野賢太郎（教育）、三井正也（健康）、松浦寿喜（食物）、福井哲夫（情報）、田中智之（健康生薬）、土井裕司（教務部）、藤井一光（附属中高）、岩本裕二（附属中高）、吉川一（情報システム室）、上元晋也（情報システム室）、福田徹（広報室）、松本全弘（教務部）、立花福太郎（学生課）、森本恵三（図書課） |

〔2009 年度（平成 21 年度）〕

| 内容 |
|---|
| 【運営方針・重点目標】社会の高度情報化に対応した情報環境の実現と教育の情報化に関する支援環境を整備する |
| 【組織】総括〔センター長〕中野彰 〔課長〕上元晋也 教員関係〔常任委員／研究員〕三井正也、小花和 W.尚子、松浦寿喜、福井哲夫 〔研究員〕小野賢太郎、濱谷英次 〔専任助手〕岡田由紀子 非常勤助手・副手：三島幸子、板上さつき、中井安美、橋本葉子、村上知香、金澤知子、大串志乃美、田坂雅美、菊本由紀 事務関係：跡部誠、岸田友恵、松本純、天満戸敦子、田中邦子、松本芳江 |
| 【情報処理教育委員会】委員：塩出雅（日文）、笹部徹（英文）、萬代悟（教育）、保井俊英（健康）、長岡雅美（心福）、田中由佳里（環境）、吉田精作（食物）、福井哲夫（情報）、萬田隆（建築）、一之瀬智子（音楽）、*田中智之（薬学） ※9月1日から黒田幸弘（8月） |
| 【ネットワークの整備】①基幹ネットワーク通信機器の増強、②南館（S館）1階の情報コンセント増設、③附属保育園へのネットワーク延長（3月）、④学生机の情報コンセント利用停止を行った |
| 【ネットワークの運用】①南館（S館）DHCPサーバ更新（8月）、②学習システムμCam用（ユーザ認証用サーバ（AD）更新（8月）、③2002年より開始された統合認証サーバ更新（10月） |
| 【ID発行状況】MWU-net ID取得者総合計 11,472名 |
| 【IP発行状況】①グローバルIP発行状況は、研究室、サーバ、ネットワーク中継機器、ネットワーク基幹機器、その他、合計423 |
| 【同上】②ローカルIPでの接続状況は、中央図書館（C）、文学1号館（L1）、文学2号館（L2）、東館（E）、南館（S）、日下記念マルチメディア館（MM）、第1体育館（G1）、第2体育館（G2）、第1体育館アネックス（G3）、生活環境1号館（H1）・別館（H3）、生活環境2号館（H2）、健康科学館（HS）、公江記念館（KM）、浜甲子園キャンパス、上甲子園キャンパス |
| 【ネットワーク利用講習会・センター利用説明会】〔学生対象〕利用者ID新規申請者は、「ネットワーク利用講習会」の受講必須。合計2,969名。また、初めてセンター（MM館2・3・4階）を利用する方対象に、「センター利用説明会」を同時開催。パスワード再設定申請者は、前年に引き続きμCamを利用したオンライン講習・テストの受講必須。受講人数は294名 |
| 【同上】〔教職員対象〕学生同様、利用者ID新規申請者は、「ネットワーク利用講習会」の受講必須。合計208名。パスワード再設定申請者についても、前年に引き続きμCamを利用したオンライン講習・テストの受講を必須とした。受講対象者は42名 |
| 【ホームページ】2009年度は、デザインおよび掲載内容は変更せず、次の内容を随時更新した。 〔学外向け〕MWU-net、センターオープン時間、講習会スケジュール、〔学内向け〕センターからのお知らせ、各種発行物、FAQ |
| 【情報処理教育】全学情報処理教育カリキュラム（MM館全学共用コンピュータ実習室開講分）履修者数は、2009年度合計11,240名 |
| 【全学情報処理教育施設】MM-201（オープンフロア）、MM-108、MM-109、MM-110、MM-203、MM-204、MM-205、MM-208、MM-209、MM-210、MM-211、MM-212、MM-212・準備室、MM館3・4Fコンピュータ実習室（301、302、303、304、305、306、307、401、402、403、406、407、408） |
| 【自主学习状況】263,256名（注）数字は延べ人数 |
| 【プリンタ利用状況】実習用共用プリンタ利用合計（927,351）、大型カラープリンタ（183件） |
| 【外部委託の実施】2000年度より導入した情報基礎教育科目の外部委託を次の通り実施した。2009年度合計：開講クラス数94、受講者数4,193名。委託業者：株式会社 富士通ラーニングメディア |
| 【同上】「情報活用の基礎」関連科目のアドバンスクラスにおいて、対面型の学習形態を維持しつつ、独自開発した「コンテンツ」と「学習ノート」を併用して学習を進めるブレンド型eラーニング授業実施 |
| 【教育支援パソコン】2009年度はOffice2007を搭載したパソコンを追加購入。東芝Dynabook-Satellite J50（18台）、Dynabook-Satellite J70（8台）、Dynabook-Satellite J72（10台）合計36台で運用した |

| |
|--|
| <p>【プリントポイントシステム】2009年度も引き続きプリントポイント制度を実施。一人当たりの上限値は年間5000ポイント、モノクロ1枚10ポイント、カラー1枚30ポイントの設定とした</p> |
| <p>【マルチメディア環境整備】①マルチメディア装置環境維持、②MM館マルチメディア装置の改修、③公江記念講堂マルチメディア装置の導入</p> |
| <p>【同上】④マルチメディア装置利用説明会（4月）：1998・1999年度導入マルチメディア装置利用説明会（S-21）、2002年度導入MM館コンピュータ実習室マルチメディア装置利用説明会（MM-407）</p> |
| <p>【学術講演会】参加者：教職員44名 日 時：2009年11月25日（水） 場 所：日下記念マルチメディア館メディアホール テーマ：eラーニングを授業にどう活かすか</p> <p>○学術講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題 目：eラーニングを授業にどう活かすか？ ～授業設計論の視点から～ 講 師：熊本大学大学院 教授システム学専攻 教授・専攻長 鈴木克明 氏 <p>○本学eラーニング実践報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報 告：「情報活用の基礎」におけるeラーニングの利用 講 師：中野 彰 氏・小花和 Wright 尚子 氏 ・報 告：英語文化学科、英語コミュニケーション学科における自習用教材としてのTOEICテスト用eラーニングの利用 講 師：山田慎人 氏 ・報 告：FlashVideoとeラーニングの組み合わせによる薬学部学生実習のスキルアップ効果 講 師：松野純男 氏・高松花絵 氏 |
| <p>【電子教材開発】前期（6月）にμCamアラカルト講座（4日間）とMmoa講座（5日間）、後期・特別学期にμCamアラカルト講座（6日間）とMmoa講座（2日間）を実施。参加者45名</p> |
| <p>【発行物】情報教育研究センター利用ガイドブック2009（4月発行）、情報教育研究センターニュース第14-1号（6月発行）、情報教育研究センターニュース第14-2号（11月発行）、情報教育研究センターニュース第14-3号（12月発行）、情報教育研究センターニュース第14-4号（3月発行）、武庫川女子大学情報教育研究センター年報2008（12月発行）</p> |
| <p>【施設見学】綾部高校、21世紀東アジア青少年大交流計画参加学生、播磨高校保護者、有馬高校、大阪信愛女学院高校、生野高校、中学・高校・大学施設見学会、地域別教育懇談会参加者、城星高校、尼崎北高校、夢野台高校、伊川谷高校、神戸野田高校、河南高校、千里青雲高校、オープンキャンパス（7・8・12月）</p> |
| <p>【施設利用】教員免許状更新講習（7月）、教員免許状更新講習（8月）</p> |
| <p>【学院キャンパスネットワーク運営委員会】委員長：中野彰（日文） 委員：小野賢太郎（教育）、三井正也（健康）、小花和 W.尚子（心福）、松浦寿喜（食物）、福井哲夫（情報）、田中智之（健生薬）、土井裕司（教務部）、藤原邦彦（附属中高）、岩本裕二（附属中高）、吉川一（情報システム室）、上元晋也（情報システム室）、福田徹（広報室）、松本全弘（教務部）、立花福太郎（学生課）、森本啓三（図書課）</p> |

〔2010年度（平成22年度）〕

| 内容 |
|--|
| <p>【運営方針・重点目標】社会の高度情報化に対応した情報環境の実現と教育の情報化に関する支援環境を整備する</p> |
| <p>【組織】総括〔センター長〕中野彰 教員関係〔常任委員／研究員〕小花和 W.尚子、松浦寿喜、福井哲夫、黒田幸弘 〔研究員〕小野賢太郎、濱谷英次 〔専任助手〕岡田由紀子 非常勤助手・副手：三島幸子、板上さつき、中井安美、橋本葉子、村上知香、金澤知子、大串志乃美、田坂雅美、菊本由紀 事務関係総括〔次長・課長〕上元晋也 事務関係：岸田友恵、松本純、天満戸敦子、田中邦子、松本芳江</p> |

| |
|---|
| 【情報処理教育委員】塩出雅（日文）、笹部徹（英文）、萬代悟（教育）、保井俊英（健康）、井関良美（心福）、末弘由佳理（環境）、有井康博（食物）、福井哲夫（情報）、萬田隆（建築）、一之瀬智子（音楽）、黒田幸弘（薬学） |
| 【ネットワークの整備】①支線ネットワーク通信機器の増強（9月）、②セキュリティ強化および回線増強の対策（11月）を行った |
| 【ネットワークの運用】①ネットワーク回線の有効利用（9・3月）、②ファイヤーウォール内の制限を実施（11月）、③MWUメールの送受信容量を5MBから10MBに変更（11月）、④経年劣化のため基幹サーバについて更新（9・3月）を行う |
| 【ID発行状況】MWU-net ID取得者総合計 11,709名 |
| 【IP発行状況】①グローバルIP発行状況は、研究室、サーバ、ネットワーク中継機器、ネットワーク基幹機器、その他、合計404 |
| 【同上】ローカルIPでの接続状況は、中央図書館（C）、文学1号館（L1）、文学2号館（L2）、東館（E）、南館（S）、日下記念マルチメディア館（MM）、第1体育館（G1）、第2体育館（G2）、第1体育館アネックス（GA）、生活環境1号館（H1）・別館（H3）、生活環境2号館（H2）、健康科学館（HS）、公江記念館（KM）、浜甲子園キャンパス、上甲子園キャンパス、附属保育園 |
| 【ネットワーク利用講習会・センター利用説明会】〔学生対象〕利用者ID新規申請者は、「ネットワーク利用講習会」の受講必須。合計2,944名。また、初めてセンター（MM館2・3・4階）を利用する方対象に、「センター利用説明会」を同時開催。パスワード再設定申請者は、前年に引き続きμCamを利用したオンライン講習・テストの受講必須。受講人数は306名 |
| 【同上】〔教職員対象〕学生同様、利用者ID新規申請者は、「ネットワーク利用講習会」の受講必須。合計170名。パスワード再設定申請者についても、前年に引き続きμCamを利用したオンライン講習・テストの受講を必須とした。受講対象者は39名 |
| 【ホームページ】2010年度は、新たに項目として学内向けに「各種申請」を設け、各種申請の説明を記載するとともに、申請に必要な用紙をダウンロードできるようにした |
| 【情報処理教育】全学情報処理教育カリキュラム（MM館全学共用コンピュータ実習室開講分）履修者数は、2010年度合計13,300名 |
| 【全学情報処理教育施設】MM-201（オープンフロア）、MM-108、MM-109、MM-203、MM-204、MM-205、MM-208、MM-209、MM-210、MM-211、MM-212、MM-212・準備室、MM館3・4Fコンピュータ実習室（301、302、303、304、305、306、307、401、402、403、406、407、408） |
| 【自主学习状況】267,070名（注）数字は延べ人数 |
| 【プリンタ利用状況】実習用共用プリンタ利用合計（987,805）、大型カラープリンタ（178件） |
| 【外部委託の実施】2000年度より導入した情報基礎教育科目の外部委託を次の通り実施した。2010年度合計：開講クラス数92、受講者数4,300名。委託業者：富士通エフサス・クリエ株式会社 |
| 【同上】「情報活用の基礎」関連科目において、オフィスソフトの操作を中心とするコンテンツとコンテンツに準拠したテキストを作成し、ブレンド型eラーニング授業を実施 |
| 【教育支援パソコン】2010年度は、東芝dynabook-Satellite J50（18台）、dynabook-Satellite J70（8台）、dynabook-Satellite J72（10台）合計36台で運用した。年間利用件数は2,262件 |
| 【プリントポイントシステム】2010年度も引き続きプリントポイント制度を実施。一人当たりの上限値は年間5000ポイント、モノクロ1枚10ポイント、カラー1枚30ポイントの設定とした |
| 【マルチメディア環境整備】①マルチメディア装置環境維持（保守点検および簡易修理）、②MM館マルチメディア装置の改修（劣化に伴う黒ずみや画面の乱れ等を回避するため、オープンフロアと3・4階実習室の電子マーカー、液晶タブレットを交換した |
| 【同上】③S-21で1998・1999年度導入マルチメディア装置利用説明会、MM-407で2002年度導入MM館コンピュータ実習室マルチメディア装置利用説明会を4月に各2回実施した |

| |
|---|
| <p>【学術講演会】参加者：教職員 24 名 日 時：2010 年 11 月 20 日（土） 場 所：日下記念マルチメディア館 MM-407 テーマ：iPad/iPhone を用いた授業支援 講 師：京都大学大学院情報学研究所特定准教授 附属情報教育推進センター副センター長 中村 聡史 氏</p> |
| <p>【電子教材開発】2010 年度は全体的な講習会を実施せず、随時対応を行った。実施場所は、マルチメディア館 MM-204・MM-210。μ Cam（学習支援システム）の指導・支援・利用相談の総合計は 135 件、Mmoa（電子教材作成ツール）の指導・支援・利用相談の総合計は 48 件であった</p> |
| <p>【発行物】武庫川女子大学情報教育研究センター年報 2009（12 月発行）、情報教育研究センター利用ガイドブック 2010（4 月発行）、情報教育研究センターニュース第 15-1 号（7 月発行）、情報教育研究センターニュース第 15-2 号（11 月発行）、情報教育研究センターニュース第 15-3 号（3 月発行）</p> |
| <p>【施設見学】セントマーチンズ大学短期留学生、有馬高校、大学入試説明会出席高校・予備校教員、名西高校教員・PTA、韓南大学教員、中学・高校・大学施設見学会、緑風冠高校、地域別教育懇談会参加者、城星学園高校、播磨南高校、夢野台高校、伊川谷高校、河南高校、オープンキャンパス（7・8・9・12 月）</p> |
| <p>【施設利用】教員免許状更新講習（7 月）、教員免許状更新講習（8 月）、肺ガン CT 検診認定機構講習会</p> |
| <p>【学院キャンパスネットワーク運営委員会】委員長：中野彰（日文） 委員：小野賢太郎（教育）、小花和 W.尚子（心福）、松浦寿喜（食物）、福井哲夫（情報）、黒田幸弘（薬学）、齊藤文夫（教務部）、藤原邦彦（附属中高）、坂本正孝（附属中高）、私市佐代美（情報システム室）、上元晋也（情報システム室）、福田徹（広報室）、松本全弘（教務部）、立花福太郎（学生課）、小花洋一（附属図書館）</p> |

〔2011 年度（平成 23 年度）〕

| 内容 |
|--|
| <p>【運営方針・重点目標】①情報教育の推進、②ICT 利用による授業改善・教材開発支援、③ネットワークの再整備、④広報活動の充実、⑤実習環境の整備、⑥講習会・説明会の実施</p> |
| <p>【組織】総括〔センター長〕中野彰 教員関係〔常任委員／研究員〕小花和 W.尚子、松浦寿喜、福井哲夫、黒田幸弘 〔研究員〕平井尊士、小野賢太郎、濱谷英次 〔専任助手〕岡田由紀子 非常勤助手：三島幸子、板上さつき、中井安美、橋本葉子、村上知香、金澤知子、大串志乃美、田坂雅美、植田愛美（副手） 事務関係総括：〔次長・課長〕上元晋也 事務関係：岸田友恵、松本純、天満戸敦子、田中邦子、松本芳江</p> |
| <p>【情報処理教育委員】平井尊士（日文）、笹部徹（英文）、萬代悟（教育）、井関良美（心福）、坂井和明（健康）、末弘由佳理（環境）、有井康博（食物）、福井哲夫（情報）、萬田隆（建築）、松本佳久子（音楽）、黒田幸弘（薬学）</p> |
| <p>【ネットワークの整備】①通信機器の更新（8 月）、②ネットワークのセキュリティ対策強化（9 月）、③無線 LAN の導入（12 月）、④新館（総合心理学館・栄養科学館）へのネットワーク延長を行った</p> |
| <p>【ネットワークの運用】①各種サーバ更新（5～10 月）プリント管理システム等、②マルチメディア館オープンフロア機器の更新（8 月）、③メールシステムのリニューアル（3 月）Gmail システムを導入した</p> |
| <p>【MWU-net ID 発行状況】ID 取得者総合計 11,991 名</p> |
| <p>【IP 発行状況】グローバル IP 発行状況は、研究室、サーバ、ネットワーク中継機器、ネットワーク基幹機器、その他、合計 394</p> |
| <p>【同上】ローカル IP での接続状況は、中央図書館（C）、文学 1 号館（L1）、文学 2 号館（L2）、東館（E）、南館（S）、日下記念マルチメディア館（MM）、第 1 体育館（G1）・第 2 体育館（G2）・第 1 体育館アネックス（GA）・体育研究棟（G）、生活環境 1 号館（H1）・別館（H3）、生活環境 2 号館（H2）、健康科学館（HS）、公江記念館（KM）、総合心理学館（PS）、栄養科学館（NS）、浜甲子園キャンパス、上甲子園キャンパス、附属保育園</p> |

| |
|--|
| <p>【ネットワーク利用講習会・センター利用説明会】[学生対象] 利用者 ID 新規申請者は、「ネットワーク利用講習会」の受講必須。合計 2,976 名。また、初めてセンター（MM 館 2・3・4 階）を利用する方対象に、「センター利用説明会」を同時開催。パスワード再設定申請者は、前年に引き続き μCam を利用したオンライン講習・テストの受講必須。受講人数は 265 名</p> |
| <p>【同上】[教職員対象] 学生同様、利用者 ID 新規申請者は、「ネットワーク利用講習会」の受講必須。合計 254 名。パスワード再設定申請者についても、前年に引き続き μCam を利用したオンライン講習・テストの受講を必須とした。受講対象者は 62 名</p> |
| <p>【ホームページ】2011 年度は、新たな項目として学内向けに「Web サーバパスワード変更」と「無線 LAN アクセスサービス」を設け、利用申請紙や設定マニュアル等をダウンロードできるようにした</p> |
| <p>【情報処理教育】全学情報処理教育カリキュラム（MM 館全学共用コンピュータ実習室開講分）履修者数は、2011 年度合計 12,007 名</p> |
| <p>【全学情報処理教育施設】MM-201（オープンフロア）、MM-203、MM-204、MM-205、MM-209、MM-210、MM-211、MM-212、MM-212・準備室、MM-108、MM-109、MM 館 3・4F コンピュータ実習室（301、302、303、304、305、306、307、401、402、403、406、407、408）</p> |
| <p>【自主学习状況】260,472 名（注）数字は延べ人数</p> |
| <p>【プリンタ利用状況】実習用共用プリンタ利用合計（992,278）、大型カラープリンタ（213 件）</p> |
| <p>【外部委託の実施】2000 年度より導入した情報基礎教育科目の外部委託を次の通り実施した。2011 年度合計：開講クラス数 92、受講者数 4,243 名。委託業者：富士通エフサス・クリエ株式会社</p> |
| <p>【同上】「情報活用の基礎」関連科目において、オフィスソフトの操作を中心とするコンテンツとコンテンツに準拠したテキストを作成し、ブレンド型 e ラーニング授業を実施</p> |
| <p>【教育支援パソコン】2011 年度は東芝 dynabook-Satellite J50（18 台）、同 J70（8 台）、同 J72（10 台）、同 R741（10 台：2011 年度後期導入）計 46 台で運用した。年間利用件数は 1,965 件</p> |
| <p>【プリントポイントシステム】2011 年度も引き続きプリントポイント制度を実施。一人当たりの上限値は年間 5000 ポイント、モノクロ 1 枚 10 ポイント、カラー 1 枚 30 ポイントの設定とした</p> |
| <p>【マルチメディア環境整備】①マルチメディア装置環境維持：機能・性能を維持し、教育活動を円滑に進めるため装置の定期的な保守点検を実施。一時的なトラブルについては必要に応じて簡易修理を行った</p> |
| <p>【同上】②マルチメディア装置利用説明会：[1998・99 年度導入装置利用説明会]（S-21）を 4 月 6 日に、[2002 年度導入装置利用説明会]（MM-407）を 4 月 2 日に行った</p> |
| <p>【学術講演会】参加者：教職員 28 名 日 時：2011 年 12 月 9 日（月） 場 所：日下記念マルチメディア館 MM-407 テーマ：アカデミッククラウド環境：大学の情報化における新たなパラダイム 講 師：京都大学情報環境機構 IT 企画室教授 梶田 将司 氏</p> |
| <p>【電子教材開発】2011 年度も引き続き随時対応を行った。実施場所はマルチメディア館 MM-204・MM-210。μCam の指導・支援・利用相談の総合計は 219 件。また、4 月より新 μCam の利用が開始されることを受けて講習会を 3 月 9・14・15 日の 3 日間実施した。参加数は延べ 41 名であった</p> |
| <p>【同上】Mmoa（電子教材作成ツール）の指導・支援・利用相談の総合計は 45 件</p> |
| <p>【発行物】武庫川女子大学情報教育研究センター年報 2010（12 月発行）、情報教育研究センター利用ガイドブック 2011（4 月発行）、情報教育研究センターニュース第 16-1 号（10 月発行）、情報教育研究センターニュース第 16-2 号（1 月発行）、情報教育研究センターニュース第 16-3 号（1 月発行）</p> |
| <p>【施設見学】セントマーチンズ大学短期留学生、加古川南高校、大学入試説明会出席高校・予備校教員、中学・高校・大学施設見学会、西宮青年会議所、地域別教育懇談会参加者、夢野台高校、オープンキャンパス（7・8・9・12 月）</p> |
| <p>【施設利用】体育祭中継（5 月 21 日）、教員免許状更新講習（8 月 1～4 日）</p> |

| |
|---|
| 【同上】「情報活用の基礎」関連科目において、オフィスソフトの操作を中心とするコンテンツとコンテンツに準拠したテキストを作成し、ブレンド型 e ラーニング授業を実施 |
| 【教育支援パソコン】2012年度は東芝 dynabook-Satellite J50 (18台)、同 J70 (8台)、同 J72 (10台)、同 R741 (10台) 計46台で運用した。年間利用件数は2,028件 |
| 【プリントポイントシステム】2012年度も引き続きプリントポイント制度を実施。一人当たりの上限値は年間5000ポイント、モノクロ1枚10ポイント、カラー1枚30ポイントの設定とした |
| 【マルチメディア環境整備】①マルチメディア装置環境維持：機能・性能を維持し、教育活動を円滑に進めるため装置の定期的な保守点検を実施。一時的なトラブルについては必要に応じて簡易修理を行った |
| 【同上】②マルチメディア装置利用説明会：[1998・99年度導入装置利用説明会] (S-22) を4月6日に、[2002年度導入装置利用説明会] (MM-407) を4月6日に行った |
| 【学術講演会】参加者：教職員約70名 日 時：2013年2月23日(土) 場 所：日下記念マルチメディア館 1階メディアホール テーマ：能動的学習とコミュニケーション —教育・研究コミュニケーション基盤としての Google Apps の活用とその課題— 講 師：嘉悦大学 経営経済学部 准教授 情報メディアセンター長 遠山 縁生 氏 |
| 【電子教材開発】2012年度も引き続き随時対応を行った。実施場所はマルチメディア館 MM-204・MM-210。MM-109。μCam の指導・支援・利用相談の総合計は115件。また、3月7・8日に μCam 相談会を開催した。Mmoa (電子教材作成ツール) の指導・支援・利用相談の総合計は44件であった |
| 【発行物】武庫川女子大学情報教育研究センター紀要2011 (12月発行)、情報教育研究センター利用ガイドブック2012 (4月発行)、情報教育研究センターニュース第17-1号 (7月発行)、情報教育研究センターニュース第17-2号 (11月発行)、情報教育研究センターニュース第17-3号 (3月発行) |
| 【学院キャンパスネットワーク運営委員会】委員長：中野彰 (日文) 委員：平井尊士 (日文)、金子健治 (教育)、半羽利美佳 (心福)、松浦寿喜 (食物)、中村一基 (教務部)、大宣見朝保 (附属中高)、坂本正孝 (附属中高)、私市佐代美 (情報システム室)、上元晋也 (情報システム室)、福田徹 (広報室)、宗光猛 (教務部)、立花福太郎 (学生課)、小花洋一 (附属図書館) |

〔2013年度 (平成25年度)〕

| 内容 |
|--|
| 【運営の基本方針】2013年度、情報教育研究センターでは「情報の武庫女」実現に向けた情報教育を企画運営・支援するとともに、授業での ICT 利用を活性化することや快適で安全な情報環境を維持発展させる |
| 【組織・メンバー】センター長：中野彰 常任委員／研究員：藤谷智子、平井尊士、半羽利美佳、有井康博 研究員：小花和 W.尚子、金子健治、濱谷英次、福井哲夫、松浦寿喜 専任助手：岡田由紀子 教務助手：三島幸子、板上さつき、中井安美、橋本葉子、村上知香、高見知子、高志乃美、田坂雅美、植田愛美 情報システム室：私市佐代美、西隆正、田中邦子、白武和美、天満戸敦子、内藤真由美、上村純子 (派遣職員) |
| 【情報処理教育委員】委員：平井尊士 (日文)、笹部徹 (英文)、本多千明 (教育)、長岡雅美 (心福)、坂井和明 (健康)、水野優子 (環境)、福田也寸子 (食物)、野村典子 (情報)、田中明 (建築)、松本佳久子 (音楽)、山森元博 (薬学) |
| 【ネットワークの整備】①通信機器の更新として中央キャンパス・神戸 DC 間で 10G のネットワークを 2 本に増設、3月に建屋ごとのネットワーク敷設工事を行った。②学外接続強化として障害時のサービス停止回避のためセカンダリ DNS サービス利用に変更、③無線 LAN 利用として図書館での暗号化方式を別の認証方式に変更した |
| 【ネットワークの運用】センターが運用している各種システム・オンラインサービスの運用・保守をアウトソーシングにより行った |
| 【ネットワーク利用講習会・センター利用説明会】[学生対象] 昨年同様、「センター利用説明会」「ネットワーク利用講習会」を同時開催した。大学・短大新生は、年度始めに学部学科等に分けて1日3回実施。大学院・専攻科は、申請者に対して ID 発行していたが、全員発行とし、入学式後に説明会を実施、説明会欠席者は、DVD 視聴後その場で ID 発行書を配布した |

| |
|---|
| <p>【同上】[教職員対象] 講習会受講が ID 発行の要件ではなくなり、説明会として実施し、講習会は廃止した。[科目等履修生・研究生] 従来通り説明会は実施せず、希望者に ID 申請書を配布し、翌週までに ID 発行書を発行した</p> |
| <p>【ID 発行状況】 ID 取得者総合計 11,705 名</p> |
| <p>【IP 発行状況】 ①グローバル IP 発行状況は、研究室、サーバ、ネットワーク中継機器、ネットワーク基幹機器、その他、合計 429。外部基幹への登録件数は 51 件であった</p> |
| <p>【MM 館における無線 LAN 認証状況】 2013 年度 5,215 (2012 年度は 1,976)</p> |
| <p>【情報教育】 ①情報教育研究センター提供科目：「情報活用の基礎」関連科目。「大環と大演・大応」「新薬・大康」「短日・短健」「短英新と短人」は合併クラスで実施。初回授業で習熟度別クラス分けテストを実施し、「ベーシック」「アドバンス」に分かれて、2 回目以降の授業を実施。後期は大応のみ必修。委託業者：富士通エフサス・クリエイティブ株式会社</p> |
| <p>【同上】 ②共通教育科目 言語・情報科目群 (情報リテラシー科目)：富士通エフサス・クリエイティブ株式会社の外部専門講師、榛沢美保、芝田道、川本俊行、濱谷英次、岩崎徳子、野村典子が科目を担当</p> |
| <p>【同上】 ③特別教育科目 全学プログラム：濱谷英次、芝田道、川本俊行、榛沢美保が科目を担当</p> |
| <p>【情報 SA】 共通教育科目「情報インストラクタ基礎Ⅰ」の単位を取得し、「情報インストラクタ基礎Ⅱ」の単位取得又は単位取得者と同等の能力を有すると認められる者の内、情報 SA を希望する者より選考し、前期から導入。活動は無償とし、申請により条件を満たした場合はボランティア単位として認定する。特に優れた活動を行った者は特別表彰を行う。活動人数：前期 14 名・後期 9 名 学長表彰者前期 12 名、後期 2 名</p> |
| <p>【全学情報教育施設】 MM-201 (オープンフロア)、MM 館 3・4F コンピュータ実習室 (301、302、303、304、305、306、307、401、402、403、406、407、408)</p> |
| <p>【自主学习状況】 267,516 名 (注) 数字は延べ人数</p> |
| <p>【プリンタ利用状況】 実習用共用プリンタ利用合計 (943,067)、大型カラープリンタ (248 件)</p> |
| <p>【プリントポイント利用状況】 共用プリンタについて、個人ごとにプリンタの使用状況をカウントしている。学生一人当たりの上限は年間 5000 ポイント、モノクロ片面 10 ポイント、カラー片面 30 ポイント、上限を超えた場合は有料でのポイント追加となる</p> |
| <p>【マルチメディア環境整備】 ①マルチメディア教室等環境維持：機能・性能を維持し、教育活動を円滑に進めるため装置の定期的な点検 (8・3 月) を保守業者により実施した。機器の一時的なトラブルは、必要に応じて簡易修理を行った。2013 年度よりマルチメディア装置利用説明会は、廃止した</p> |
| <p>【教育支援パソコン】 2013 年度は東芝 dynabook-Satellite R742 (10 台)、同 J741 (10 台)、同 J72 (10 台)、同 J70 (8 台) 計 38 台で運用した。年間利用件数は前期 1,036 件、後期 950 件、合計 1,986 件</p> |
| <p>【電子教材開発】 2013 年度も引き続き随時対応を行った。実施場所は教材開発支援室 MM-109。μCam の指導・支援・利用相談の総合計は 123 件。Mmoa (電子教材作成ツール) の指導・支援・利用相談の総合計は 51 件であった</p> |
| <p>【発行物】 武庫川女子大学情報教育研究センター紀要 2012 (11 月発行、※「年報」から「紀要」に名称変更。学術誌としての性格を重視)、情報教育研究センター利用ガイドブック 2013 (4 月発行)、情報教育研究センターニュース第 18-1 号 (7 月発行)、情報教育研究センターニュース第 18-2 号 (12 月発行)、情報教育研究センターニュース第 18-3 号 (3 月発行)</p> |
| <p>【ホームページ】 「学内専用ページ」リンクボタンを移動させ、学内専用ページの入口を分かりやすくするとともに、Topic を目立つように変更。②センターオープン時間について、9 月より前後期分を掲載するよう変更した。③「各種発行物」に活動報告を追加し、申請書様式のダウンロードを可能にした</p> |
| <p>【トライやる・ウィーク】 活動日：5 月 23 日～24 日、活動者：西宮市立鳴尾中学校 女子生徒 4 名、活動内容：施設見学、パソコン・マルチメディア装置等の機器点検・清掃、事務資料の準備、パソコンの使い方とプレゼンテーション資料作成、大判プリンタでの印刷</p> |
| <p>【学術講演会】 日 時：2013 年 11 月 27 日 (水) 場 所：日下記念マルチメディア館 MM-403 テーマ：学生の自己教育力を育成する学修設計 ～授業時間外の学修をどうデザインするか～ 講 師：国立大学法人岐阜大学院 総合情報メディアセンター長 加藤 直樹 氏</p> |

| |
|---|
| <p>【学院キャンパスネットワーク運営委員会】委員長：中野彰（日文） 委員：平井尊士（日文）、藤谷智子（教育）、半羽利美佳（心福）、有井康博（食物）、坂本正孝（附属中高）、私市佐代美（情報システム室兼情報システム課）、福田徹（広報室兼広報課）、宗光猛（教務部）、谷村勇一（学生課）、小花洋一（附属図書館兼図書課）</p> |
|---|

〔2014年度（平成26年度）〕

| 内容 |
|--|
| <p>【運営の基本方針】情報教育研究センターでは、2014年度より全学的情報教育カリキュラムを一新する。このカリキュラムを着実に実施することで、確かな情報活用能力を育成し「情報の武庫女」実現を目指す。また、教育の情報化をさらに進め、授業でのICT利用を活性化するとともに、教育・研究環境を維持発展させる。学生、教職員とともに気軽にセンターを訪れ、情報環境やパソコンの操作などで日頃困っていることを何でも相談できる雰囲気を作りたい。来訪者と同じ目線で質問対応できるような「寄り添うサポート、サービス」に徹したい</p> |
| <p>【組織・メンバー】センター長／研究員：中野彰（統括） 常任委員／研究員：平井尊士、半羽利美佳、有井康博、中村勝則 研究員：小花和 W.尚子、松村憲一、竹中一平、金子健治、藤谷智子、濱谷英次 専任助手／研究員：岡田由紀子 教務助手：三島幸子、板上さつき、中井安美、橋本葉子、村上知香、高志乃美、田坂雅美、植田愛美、中牟田久仁子 情報システム室：私市佐代美（室長） 情報システム課：西隆正、瀧岡奈良子、白武和美、内藤真由美、岡本麻紀、向井由美子、大西美希、永井香央里</p> |
| <p>【情報処理教育委員】委員：平井尊士（日文）、笹部徹（英文）、本多千明（教育）、長岡雅美（心福）、坂井和明（健康）、水野優子（環境）、福田也寸子（食物）、野村典子（情報）、田中明（建築）、松本佳久子（音楽）、山森元博（薬学）</p> |
| <p>【ネットワークの整備】2014年度より、学院キャンパスネットワーク関連経費（情報処理教育研究支援事業）は、設備課予算に移管された</p> |
| <p>【ネットワークの運用】センターが運用している各種システム・オンラインサービスの運用・保守をアウトソーシングにより行った</p> |
| <p>【キャンパスネットワーク説明会】〔学生対象〕大学・短大新入生対象に、MM館1階メディアホール、3・4階コンピュータ実習室において「キャンパスネットワーク説明会」（ID発行書配布）を教務部主催「Web履修登録説明会」と併せて一つの行事として開催（4/4）。大学院・専攻科新入生は全員発行とし、入学式後に説明会を実施（4/5）。説明会欠席者は、後日DVDを視聴し、ID発行書を発行した</p> |
| <p>【同上】〔教職員対象〕新任教職員は新任教職員オリエンテーション（4月1日）にて実施し、非常勤講師は非常勤講師懇談会（4月7日）にて実施した。〔科目等履修生・研究生〕従来通り説明会は実施せず、希望者に対してID申請書を配布し、翌週までにID発行書を発行した</p> |
| <p>【ID発行状況】アウトソーシングによるID発行（11,712）とし、パスワード再設定処理およびワンタイムパスワードロック解除処理は、センターのサービスカウンターおよび事務室内で行った</p> |
| <p>【IP発行状況】①グローバルIP発行件数は、研究室、サーバ、ネットワーク中継機器、ネットワーク基幹機器、その他、合計422。外部基幹への登録件数は50件であった</p> |
| <p>【MM館における無線LAN認証状況】2014年度の認証件数は6,210件（2013年度は4,687件）</p> |
| <p>【情報基礎教育】情報教育研究センター提供科目 ①前期開講「情報リテラシーⅠ」関連科目（必修）。2014年度からプレイスメントテストの成績結果（遅刻・欠席、ID忘れ含む）により、受講対象者を決定し、4月23日～5月15日までリメディアル講座を開催。委託業者：富士通エフサス・クリエ株式会社</p> |
| <p>【同上】②共通教育科目 言語・情報科目群（情報リテラシー科目）：榛沢美保・長谷川祐紀・川本俊行・岩崎徳子・芝田道・濱谷英次・中野彰先生が科目を担当。③特別教育科目全学プログラム：濱谷英次・芝田道・川本俊行・榛沢美保・岩崎徳子先生が科目担当</p> |
| <p>【情報SA】ボランティア活動とし、申請により条件を満たした場合は特別単位として認定する。特に優れた活動を行った者は、学長表彰を行う。活動人数：前期13名・後期10名。学長表彰者：6名</p> |
| <p>【全学情報教育施設】MM-201（オープンフロア）、MM館3・4Fコンピュータ実習室（301、302、303、304、305、306、307、401、402、403、406、407、408）</p> |
| <p>【自主学习状況】232,238名（注）数字は延べ人数。学生の要望からオープン時間を早めて運用した</p> |

| |
|--|
| 【プリンタ利用状況】 実習用共用プリンタ利用合計 (881,649)、大型カラープリンタ (226 件) |
| 【プリントポイント利用状況】 学生一人当たりの上限は年間 5000 ポイント、上限を超えた場合は有料でのポイント追加となる。今年度の学生の 500 ポイント付与件数 306 件、1000 ポイント付与件数 221 件 |
| 【マルチメディア環境整備】 装置の定期的な点検 (8・3 月) を保守業者により実施。機器の一時的なトラブルは、必要に応じて簡易修理を行った。今年度の対応件数は 1,181 件であった |
| 【教育支援パソコン】 東芝 dynabook-Satellite R742 (10 台)、同 R741 (10 台)、同 J72 (10 台) の 3 機種計 30 台で運用した。年間利用件数は前期 1,095 件、後期 956 件、その他 37 件、合計 2,088 件 |
| 【電子教材開発】 今年度も引き続き随時対応を行った。場所は教材開発支援室 MM-109。μCam の指導・支援・利用相談の合計は 121 件。電子教材作成の指導・支援・利用相談の合計は 27 件 |
| 【教材作成ツール変更】 これまで利用していた Mmoa (電子教材作成ツール) が古くなり、新しい OS に対応できなくなった。2014 年度より STORM Maker (プレゼン型コンテンツ作成ソフト) を利用する。2014 年度は、Mmoa で作成したコンテンツ類を μCam で利用できるよう作業を行った |
| 【発行物】 武庫川女子大学情報教育研究センター紀要 2013 (7 月発行)、武庫川女子大学情報教育研究センター活動報告書 2013 (7 月発行)、情報教育研究センター利用ガイドブック 2014 (4 月発行)、情報教育研究センターニュース第 19-1 号 (7 月発行)、情報教育研究センターニュース第 19-2 号 (1 月発行) |
| 【ホームページ】 ユーザに見やすいシンプルな画面構成、学外・学内ページ統合、メンテナンスしやすいようにリンク集にする、をコンセプトとし、ホームページをリニューアルした。新たにセンター紹介ページを設けると共に、更新ツールとして CMS (WordPress) を採用し、メンテナンスの省力化を図った |
| 【トライやる・ウィーク】 活動日: 5 月 26・27 日、活動者: 西宮市立鳴尾中学校 女子生徒 3 名、活動内容: 施設見学、パソコン・マルチメディア装置等の機器点検・清掃、事務資料の準備、パソコンの使い方とプレゼンテーション資料作成、カラープリンタでの印刷 |
| 【スタッフ研修会】 MM-207 会議室で、4 回の研修会 (第 1 回 9 月 1 日、第 2 回 10 月 17 日、第 3 回 12 月 6 日、第 4 回 2 月 10 日) を行った |
| 【学術講演会】 日 時: 2014 年 11 月 26 日 (水) 場 所: 日下記念マルチメディア館 1 階メディアホール テーマ: ダークサイドへ導かれなかったために ～SNSをはじめネット社会の扉をどう開くか? そしてどう付き合うか?～ 講 師: 神戸大学大学院工学研究科教授 森井昌克氏 |
| 【学院キャンパスネットワーク運営委員会】 委員長: 中野彰 (日文) 委員: 平井尊士 (日文)、半羽利美佳 (心福)、有井康博 (食物)、中村勝則 (情報)、杉谷修二 (附属中高)、私市佐代美 (情報システム室兼情報システム課)、中島正樹 (広報室兼広報課)、宗光猛 (教務部)、谷村勇一 (学生部学生課)、川崎安子 (図書課) |

〔2015 年度 (平成 27 年度)〕

| 内容 |
|--|
| 【重点課題】 ①「情報リテラシー」関連科目の学修成果の向上、②ICT の活用による授業改善並びに学生の主体的学習の推進、③ICT 推進サポートの強化、④センター関連委員会の役割の整理 |
| 【組織・メンバー】 センター長/研究員: 中野彰 常任委員/研究員: 丸山健夫、平井尊士、有井康博、水野優子 研究員: 小花和 W.尚子、松村憲一、竹中一平、白井詩沙香、濱谷英次 専任助手/研究員: 岡田由紀子 教務助手: 三島幸子、板上さつき、中井安美、橋本葉子、村上知香、中牟田久仁子 情報システム室長: 私市佐代美 情報システム課: 西隆正、白武和美、向井由美子、岡本麻紀、大西美希、森本妙 |
| 【情報処理教育委員】 委員: 平井尊士 (日文)、笹部徹 (英文)、神原一之 (教育)、佐藤淳一 (心福)、保井俊英 (健康)、水野優子 (環境)、大滝直人 (食物)、丸山健夫 (情報)、宇野朋子 (建築)、松本佳久子 (音楽)、山森元博 (薬学)、岩佐真也 (看護) |

| |
|---|
| 【「情報リテラシー I」関連科目】4月、外部委託から非常勤講師による授業運営に移行 |
| 【センターニュース発行】6月3日、ペーパレス化のため、紙での配布を廃止し、ホームページ上でのニュース提供に変更 |
| 【大型カラープリンタ】7月17日、中央図書館へ移設 |
| 【ICT ボランティア】7月27日～9月30日、1期生募集 |
| 【センター紀要】7月、武庫川女子大学リポトリに公開 |
| 【センターオープンフロア】8月5日利用最終日。オープンフロアで利用していたパソコン・プリンターは、①文学2号館1階アクティブラーニング1・2、②中央図書館5階、③キャリアセンター、④国際センター、⑤学校教育館、⑥ICT ルーム、⑦センター非常勤講師控室へ移設し、有効活用を図った |
| 【センター移転】8月21日 MM 館2階→MM 館1階 |
| 【MWU-netID のパスワード変更】8月21日学外から利用可 |
| 【MM 館3・4階マルチメディア装置リニューアル】8月 |
| 【文学2号館1階アクティブラーニング1・2 (L2-12/13) 開設】9月、予約なしで自由に利用できるパソコン・プリンタを設置 |
| 【ICT ルーム (MM-111) 開設】12月、オープンフロアに代わり、パスワード変更専用端末や予約専用端末、予約なしで自由に利用できるパソコン・プリンタを設置し、学生の自主学習環境を整備 |
| 【情報処理教育委員会】2016年3月、情報基礎教育（「情報リテラシー I 関連科目、情報リテラシー II」）の授業運営を各学科へ移行することが決定し、2015年度をもって「情報処理教育委員会」廃止 |
| 【Google Apps 利用範囲拡大】2016年1月 |
| 【Google Apps 講習会】2016年2月 |
| 【μCam 講習会】2016年2月 |
| 【情報基礎教育】2016年3月（「情報リテラシー I」関連科目、情報リテラシー II）の授業運営を各学科へ移行することが決定し、2015年度をもって「情報処理教育委員会」が廃止 |
| 【共通教育科目】2016年3月、センターの役割機能が見直され、2015年度をもって共通教育科目の情報リテラシー科目群の提案業務終了 |
| 【共通教育科目「情報インストラクタ基礎 I・II」】2016年3月、情報インストラクタ育成のための共通教育科目「情報インストラクタ基礎 I・II」は受講者数減少により2015年度をもって開講中止 |
| 【ネットワークの整備】学院キャンパスネットワーク関連経費（情報処理教育研究支援事業）の予算部署である設備課と協議・相談の上、適宜ネットワークの整備にあたった |
| 【ネットワークの運用】センターが運用している各種システム・オンラインサービスの運用・保守をアウトソーシングにより行った |
| 【学院キャンパスネットワーク運営委員会】第1回学院キャンパスネットワーク運営委員会を6月30日に開催。審議事項は、学外からのオンラインサービスと Google Apps サービス利用拡大について |
| 【キャンパスネットワーク説明会】4月4日 [学生対象] 大学・短大新入生対象に、MM 館1階メディアホール、3・4階コンピュータ実習室において、「キャンパスネットワーク説明会 (ID 発行書交付)」を教務課主催「Web 履修登録説明会」と併せて実施。大学院・専攻科新入生は、入学式後に説明会を実施して全員に ID 発行書を交付。説明会の欠席者は後日 DVD を視聴し、ID 発行書を交付した |
| 【同上】[教職員対象] 新任教職員は、4月1日新任教職員オリエンテーションにて実施、非常勤講師は4月2日非常勤講師懇談会にて実施した。[科目等履修生・研究生] 説明会は従来通り実施せず、希望者に ID 申請書を配布し、申請の翌週までに ID 発行書を交付した |
| 【ID 発行状況】①アウトソーシングによる ID 発行 (11,688) とした。②パスワード再設定処理および③ワンタイムパスワードロック解除処理は、センターのサービスカウンタ及び事務室内で行った |
| 【IP 発行状況】①グローバル IP 発行件数は、合計 419。外部機関への登録件数は 49 件であった |
| 【MM 館における無線 LAN 認証状況】2015年度の認証件数は 14,055 件 |
| 【情報基礎教育】情報教育研究センター提供科目①前期開講「情報リテラシー I」関連科目の受講者数は 2,565 名。51 名以上のクラスにサブ講師（センター助手・教務助手）配置。看護学部の科目は外部委託（株式会社ワークアカデミー）した。②後期開講「情報リテラシー II」の受講者数は 815 名 |

| |
|---|
| <p>【非常勤講師採用】2015年度より、更なる教育内容の充実および授業運営の改善、費用対効果の向上を実現するため、非常勤講師をJST（科学技術振興機構）で公募の上、12名を新規採用した</p> |
| <p>【リメディアル講座】ブレインメントテストの成績結果により、受講対象者を決定し、リメディアル講座開催。今年度は講座受講対象者を全体の約15%に拡大した。講師：株式会社ワークアカデミー（外部委託）およびセンター教務助手</p> |
| <p>【情報SA】2013年度から導入した情報SAの運用を今年度も継続して実施した。活動人数：前期11名・後期13名（ジュニア情報SA2名含む）。2015年度学長表彰者：10名</p> |
| <p>【ICTボランティア】今年度後期から、学内の情報通信技術（ICT）を先進的に活用されている授業や教員の研究室を学生リポーターが訪問し、レポートするネット番組の制作に協力してくれる学生を「ICTボランティア」として新規募集した。申請により条件を満たした場合は特別単位を認定。今年度の登録者数は9名。情報メディア学科の天野憲樹教授他、4本のICTニュース（動画ニュース）を制作した</p> |
| <p>【施設・設備概要】[前期] MM-201（オープンフロア）、MM館3・4Fコンピュータ実習室（301、302、303、304、305、306、307、401、402、403、406、407、408）[後期] MM館3・4Fコンピュータ実習室（301、302、303、304、305、306、307、401、402、403、406、407、408）</p> |
| <p>【自主学习状況】162,533名（注）数字は延べ人数。今年度後期よりセンター移転に伴いオープンフロア（MM-201）の運用が廃止となった。そのため予約システムを利用した自主学习は全学共用コンピュータ実習室のみとなった。また留学生用の英語環境パソコンも併せて運用を廃止した</p> |
| <p>【プリンタ利用状況】実習用共用プリンタ利用合計（841,376枚）</p> |
| <p>【大型カラープリンタ】大型カラープリンタ（103件）2015年度は中央図書館へ移設のため7月14日迄の利用状況を示す</p> |
| <p>【プリントポイントの追加】学生一人当たりの上限は年間5000ポイント、上限を超えた場合は有料でのポイント追加となる。今年度の学生の500ポイント付与件数363件、1000ポイント付与件数344件。センターと中央図書館1階ICTサポートデスクで手続きを行っている</p> |
| <p>【マルチメディア教室等環境維持】MM館3・4階コンピュータ実習室、オープンフロア、ICTルーム、文学2号館1階アクティブラーニング1・2等におけるマルチメディア装置、パソコン関連機器の運用・サポートを行う。8月のマルチ卓リニューアルに伴い、後期以降、操作卓のトラブルは解消された</p> |
| <p>【教育支援パソコン】HP240 G3（10台）、東芝 dynabook-Satellite R742（10台）、同 R741（10台）、同 J72（10台）の4機種計40台で運用した。年間利用件数は前期1,141件、後期602件、その他38件、合計1,781件</p> |
| <p>【電子教材開発】[μCam]今年度も個別に問い合わせ対応を行った。μCamの指導・支援・利用相談の合計は249件。利用者拡大のため、教職員対象のμCam講習会を2月29日にMM-303で実施した。講師：SCSK（株）岩澤亮裕氏。参加人数：41名。また、SCSK（株）と月例報告会を実施し、μCam利用ガイドブックの作成（改訂）を行った。[電子教材作成支援]教員からの各種問い合わせに個別対応した。指導・支援・利用相談の合計は13件</p> |
| <p>【Google Apps】2015年1月7日より利用サービスが拡大された。拡大された主なサービスは、ドライブ（ドキュメント、スプレッドシート、スライド）、カレンダー、ハンガアウト。拡大された主なサービスについてGoogle Appsマニュアルを作成した（12月発行）。2月24日教職員対象にGoogle Apps講習会を実施。場所：MM-303、講師：センター助手、内容：Google Appsについて、基本操作について</p> |
| <p>【ホームページ】次の内容について随時更新を行った。センターからのお知らせ、センターオープンカレンダー、各種発行物、センターに寄せられた意見、その他、掲載内容に変更が生じた際には更新を行った</p> |
| <p>【発行物】武庫川女子大学情報教育研究センター紀要2014（7月発行）、武庫川女子大学情報教育研究センター活動報告書2014（7月発行）、情報教育研究センター利用ガイドブック2015学生用（4月発行）、情報教育研究センター利用ガイドブック2015教員用（4月発行）、情報教育研究センターニュース第20-1号（6月発行）、情報教育研究センターニュース第20-2号（2月発行） ※上記発行物のPDFファイルをセンターホームページに掲載した</p> |
| <p>【スタッフ研修会】MM-207会議室で、3回の研修会（第1回8月6日、第2回10月16日、第3回2月10日）を行った</p> |

| |
|---|
| <p>【学術講演会】 テーマ：ひとつのドラマができるまで —TV プロデューサーが語る情報コンテンツ— 日 時：12月4日（金）16：30～18：00 場 所：中央図書館2階 グローバルスタジオ 講 師：関西テレビ放送株式会社 谷口 俊哉 氏 （司 会：情報教育研究センター常任委員 丸山 健夫）</p> |
| <p>【学院キャンパスネットワーク運営委員会】 委員長：中野彰（日文） 委員：丸山健夫（情報）、平井尊士（日文）、有井康博（食物）、水野優子（環境）、杉谷修二（附属中高）、谷田部美澄（施設部）、山田修（施設部設備課）、私市佐代美（情報システム室兼情報システム課）、中島正樹（広報室）、宗光猛（教務部兼丹嶺学苑研修センター研修指導課）、谷村勇一（学生部学生課）、川崎安子（図書課）</p> |
| <p>【スマートキャンパス】 2016年3月中旬、大河原量理事長発案による「ICT活性化プロジェクト」始動</p> |

〔2016年度（平成28年度）〕

| 内容 |
|---|
| <p>【重点目標】 ①学生・教職員が、自由に楽しく生き生きと ICT を活用できるようなインフラを構築するとともに、その運用の指針や ICT に関連する諸規定を再整備すること。②ICT 環境活用のノウハウを積極的に普及させるため、多数のミニ講習会の開催、サポート体制の充実、学生による ICT ボランティアの育成などを柱に啓蒙活動を行うこと</p> |
| <p>【組織・メンバー】 [情報教育研究センター] センター長：丸山健夫 常任委員／研究員：平井尊士、有井康博、水野優子 専任助手：岡田由紀子 教務助手：三島幸子、板上さつき、中井安美、橋本葉子、村上知香 [情報システム室情報システム課] 情報システム室長：私市佐代美 情報システム課：西隆正、白武和美、植田むつみ、稲葉利枝、大西美希</p> |
| <p>【キャンパスネットワーク説明会】 [学生対象] 大学・短大新入生対象に、MM 館1階メディアホール、3・4階コンピュータ実習室において「キャンパスネットワーク説明会（MWU-netID 発行書を交付）を教務課主催「Web 履修登録説明会」と併せて実施。建築学科は上甲子園キャンパス、薬学部は浜甲子園キャンパスにて実施した。本年度より、大学院・専攻科新入生は、院・専入学式後に ID 発行書を配布</p> |
| <p>【同上】 [教職員対象] 新任教職員は、新任教職員オリエンテーション（4/1）にて実施、非常勤講師は、非常勤講師懇談会（4/2）にて実施した。[科目等履修生・研究生] 説明会は従来通り実施せず、希望者に ID 申請書を配布し、申請の翌週までに ID 発行書を交付した</p> |
| <p>【MWU-netID 発行状況】 アウトソーシングによる ID 発行とした。2017年3月9日迄の発行状況は、ID 取得者総合計 11,580 人。また、パスワード再設定処理（391 件）とワンタイムパスワードロック解除処理（241 件）はセンターのサービスカウンタ及び事務室内で行った</p> |
| <p>【IP アドレス発行状況】 グローバル IP の発行件数は合計 428。外部機関への登録件数は 50 件であった</p> |
| <p>【MM 館における無線 LAN 認証状況】 2016 年度の認証件数は 13,278 件であった</p> |
| <p>【情報基礎教育】 看護学部の「情報リテラシー I」は外部委託（株式会社ワークアカデミー）</p> |
| <p>【情報 SA】 「情報インストラクタ I・II」は 2015 年度をもって開講中止となり、2016 年度は 2015 年度までの単位取得者が情報 SA として活動した。また情報 SA 活動は 2016 年度をもって終了する。活動人数：前期 5 名・後期 4 名。2016 年度情報 SA 学長表彰者：5 名</p> |
| <p>【IC ボランティア】 センターが運営するクラウドサービス mwu.jp の PR を行い、各学科の教育・研究の ICT 活性化をめざして活動する。応募資格は、「ICT 活用に興味のある大学・短大の学生」で、定員はなし。ボランティア活動とし、申請により条件を満たした場合は特別単位を認定する。登録人数：37 名</p> |
| <p>【MM 館全学共用コンピュータ実習室】 施設設備概要：MM 館 3・4F コンピュータ実習室（301、302、303、304、305、306、307、401、402、403、406、407、408）</p> |
| <p>【自主学習状況】 83,292 名（注）数字は延べ人数</p> |
| <p>【プリンタ利用状況】 実習用共用プリンタ利用合計（669,118 枚）</p> |

| |
|---|
| 【プリントポイントの追加】 学生一人当たりの上限は年間 5000 ポイント、上限を超えた場合は有料でのポイント追加となる。今年度の学生の 100 ポイント追加件数 174 件、500 ポイント追加件数 198 件、1000 ポイント付与件数 290 件。センターと中央図書館 1 階 ICT サポートデスクで手続きを行っている |
| 【マルチメディア教室等環境維持】 MM 館 3・4 階コンピュータ実習室、ICT ルーム、文学 2 号館 1 階 L1・L2 教室におけるマルチメディア装置、パソコン関連機器の運用・サポートを行った |
| 【教育支援パソコン】 HP240 G3 (10 台)、東芝 dynabook-Satellite R742 (10 台)、同 R741 (10 台)、同 J72 (10 台) のノート型パソコン 4 機種計 40 台で運用した。年間利用件数は前期 921 件、後期 1,273 件、その他 26 件、合計 2,220 件。貸出先が新たに 2 箇所追加された。(4 月：看護学部事務室、6 月：学校教育センター教職指導室) |
| 【電子教材開発】 [μCam] 今年度も個別に問い合わせ対応を行った。μCam の指導・支援・利用相談の合計は 306 件。SCSK (株) と月例報告会を実施した。μCam 利用ガイドブック-教員用-の改訂 (4 月) を行った。2017 年 3 月をもって μCam サービス終了。[電子教材作成支援] 教員からの各種問い合わせに個別対応した。指導・支援・利用相談の合計は 13 件。電子教材作成には、StormMaker を使用した |
| 【ホームページ】 次の内容について随時更新を行った。センターからのお知らせ、センターオープンカレンダー、各種発行物、センターに寄せられた意見。その他、掲載内容に変更が生じた際には更新を行った |
| 【発行物】 武庫川女子大学情報教育研究センター紀要 2015 (7 月発行)、武庫川女子大学情報教育研究センター活動報告書 2015 (7 月発行)、情報教育研究センター利用ガイドブック 2016 学生用 (4 月発行)、情報教育研究センター利用ガイドブック 2016 教員用 (4 月発行) ※上記発行物の PDF ファイルをセンターホームページに掲載 |
| 7 月 15 日 米国 Google 本社より、ドメイン mwu.jp によるアカデミック運用認定 (Google Apps for Education) |
| 7 月 19 日 常任委員会によりプロジェクト承認 |
| 8 月 19 日 評議会報告 |
| 【学院キャンパスネットワーク運営委員会】 委員長：丸山健夫 (情報) 委員：平井尊士 (日文)、有井康博 (食物)、水野優子 (環境)、私市佐代美 (情報システム室兼情報システム課)、大西秀巳 (経理部兼財務課)、重岡壤 (施設部兼施設課)、外部委員：株式会社理経 |
| 9 月 13 日 情報教育研究センターが運営する「ICT ヘルプデスク」文学 2 号館 2 階で業務開始 |
| 9 月 15 日 学生へ担任ガイダンスでプロジェクトを紹介 |
| 9 月 18 日 武庫川学院クラウドサービス mwu.jp 運用開始。登録メール (ID/仮パスワード) を MWU-Mail にて 12,000 通を送信 |

〔2017 年度 (平成 29 年度)〕 武庫女スマートキャンパスプロジェクト開始

| 内容 |
|--|
| 【組織・メンバー】 [情報教育研究センター] センター長：丸山健夫 (情報) 研究員／常任委員：平井尊士 (日文)、有井康博 (食物)、水野優子 (環境) 研究員／助手：岡田由紀子 (情報教育研究センター) [ICT ヘルプデスク／関係スタッフ] 増井達郎、柳澤真司、井津井咲穂、太田博、浜尾清志、院田稔昭、岩田仁、富永悠太、角谷暢之、岡本慎一、山中姫乃、山口薫、北野友望 |
| 2 月～3 月 「250 ヶ所の Wi-Fi／容量無制限のクラウド」の電車広告掲載 (阪神 (2/6)、近鉄 (2/11)、京阪 (2/20)、南海 (2/27) 阪急 (3/28) にそれぞれ 1 週間ドア横掲示) |
| 4 月 1 日 「ICT ヘルプデスク」東館地下 1 階に移転。リニューアルオープン |
| 4 月初旬 Google フォトを活用した入学式の写真サービス実施 |
| 5 月中旬 ヘルプデスク出張サービス実施 (Wi-Fi 接続相談) |
| 5 月中旬 LAVY SPOT のつながりにくい場所を公開調査 (キャンペーン実施) |
| 5 月 8 日 米国 Google 本社より卒業生向けアカウントならびにアカウント数無制限取得の了承を受ける |
| 6 月 4 日 オープンキャンパスに ICT ヘルプデスクのブースを出展／AR 体験紹介 (6 月 4 日、7 月 14 日、7 月 15 日、8 月 2 日に実施) |

| |
|--|
| 6月23日 武庫女ライブストリーム／インターネット生放送をICTヘルプデスクより発信開始（月～金：12：30～12：45） |
| 8月下旬 LAVY SPOT 330カ所に増強、mwu.jpの生涯アカウント化、パスワードの有効期限の廃止、最低パスワード長の変更・オンデマンドによるヘルプデスク講習会の実施など、一連のスマートキャンパス第二弾を実施 |
| 7月28日 「mwu.jp マニュアル ver.2（四つ折り版）」発行（16,000部） |
| 10月1日 ネットワーク利用に関する各種申請をWEBよりオンラインで出来るようにして、情報教育研究センターのWEBを全面リニューアル |
| 10月初旬 「WiFiとクラウドで学ぼう！」の新聞広告掲載（読売新聞・朝刊／神戸新聞・朝刊（10/3）毎日新聞・朝刊／朝日新聞・朝刊（10/4）、日本経済新聞・朝刊（10/7）） |
| 11月1日 学校法人武庫川学院・教職員コミュニケーションサイト mcom 運用開始 |
| 12月 mwu.jp 利用ガイドライン整備 |
| 2018年2月 卒業生向けmwu.jpアカウント発行開始（鳴松会会報にて告知） |
| 【学術講演会】 日 時：2018年2月21日（水） 場 所：武庫川女子大学中央図書館2階グローバルスタジオ テーマ：デザインの作り方教えます。 講 師：株式会社阪神コンテンツリンク 小野日出夫 氏 聞き手：武庫川女子大学情報教育研究センター長 丸山健夫 教授 |
| 2018年3月 附属中学校・高等学校の生徒へのmwu.jpアカウント発行開始 |
| 2018年3月12日 「mwu.jp マニュアル ver.3.（蛇腹版）発行」（15,000部） |
| 【学院キャンパスネットワーク運営委員会】委員長：丸山健夫（情報） 委員：平井尊士（日文）、有井康博（食物）、水野優子（環境）、大西秀巳（経理部）、重岡壤（施設部）、私市佐代美（情報システム室）、中島正樹（広報室）、川崎直人（教務部）、芝田仁（附属中高） |

〔2018年度（平成30年度）〕

| 内容 |
|---|
| 【組織・メンバー】 [情報教育研究センター] センター長：丸山健夫（情報） 研究員／常任委員：黒田幸弘（健生薬）、有井康博（食物）、水野優子（環境） 研究員／助手：岡田由紀子（情報教育研究センター） [ICTヘルプデスク／関係スタッフ] 増井達郎、柳澤真司、井津井咲穂、太田博、浜尾清志、院田稔昭、岩田仁、富永悠太、角谷暢之、岡本慎一、山中姫乃、山口薫、北野友望 |
| 4月 「インターネットライブ映像中継「武庫女NOW」、中央食堂よりの配信実験を開始 |
| 4月17日 「武庫女ライブストリーム」 第100回 放送 |
| Wi-FiアクセスポイントLAVY SPOT 330カ所から360カ所への増強 |
| 5月11日 「武庫女スマートキャンパス」の商標登録（登録6042583）完了 |
| 6月22日 学生によるインターネット生放送「武庫女ライブストリーム」1周年記念放送（1年間の放送回数145回）、平日毎日昼休みに放送 12：30-12：45） |
| 7月1日 インターネット回線を1Gより10Gに増強 |
| 8月8日 パノラマ360度映像を配信する「武庫女スマートキャンパス VR／中央キャンパス編」完成（ http://mwu.jp/360 で公開） |
| 11月13日 「武庫女ライブストリーム」 第200回 放送 |
| 【発行物】「武庫川女子大学情報教育研究センター紀要2017」（通巻第26号）2019年3月1日発行 |
| 【学院キャンパスネットワーク運営委員会】委員長：丸山健夫（情報） 委員：黒田幸弘（健生薬）、有井康博（食物）、水野優子（環境）、大西秀巳（総務部）、重岡壤（施設部）、私市佐代美（情報システム室）、中島正樹（広報室）、川崎直人（教務部）、峰山慎二（附属中高） 外部委員：株式会社理経 |